

## 第4章 計画の推進

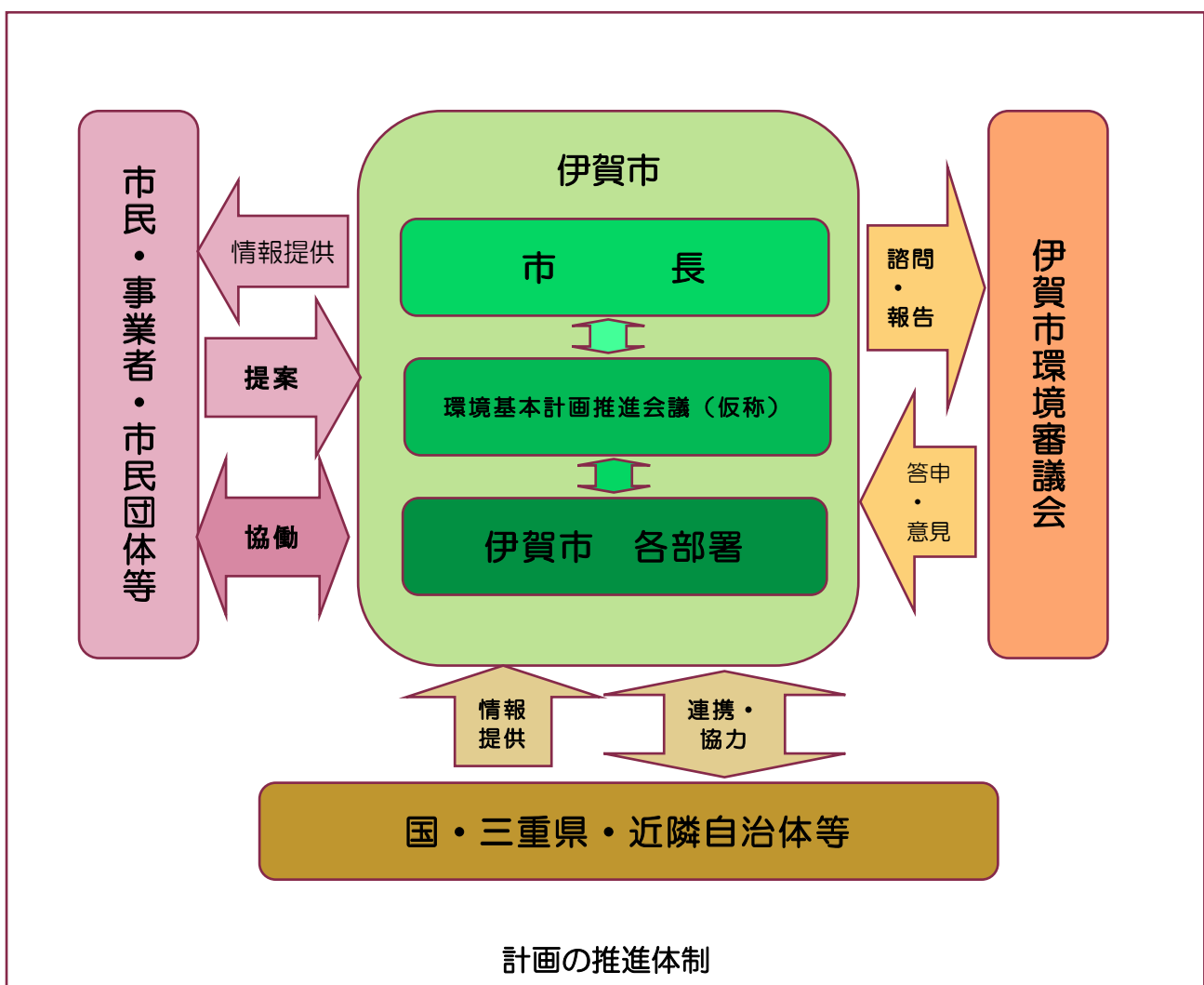
## 1.計画の推進体制

本計画は、市、市民、市民団体、事業者等の取り組みにより推進されます。

それぞれの主体が協働して本計画を推進するにあたり、各主体は連携を強化していかなければなりません。

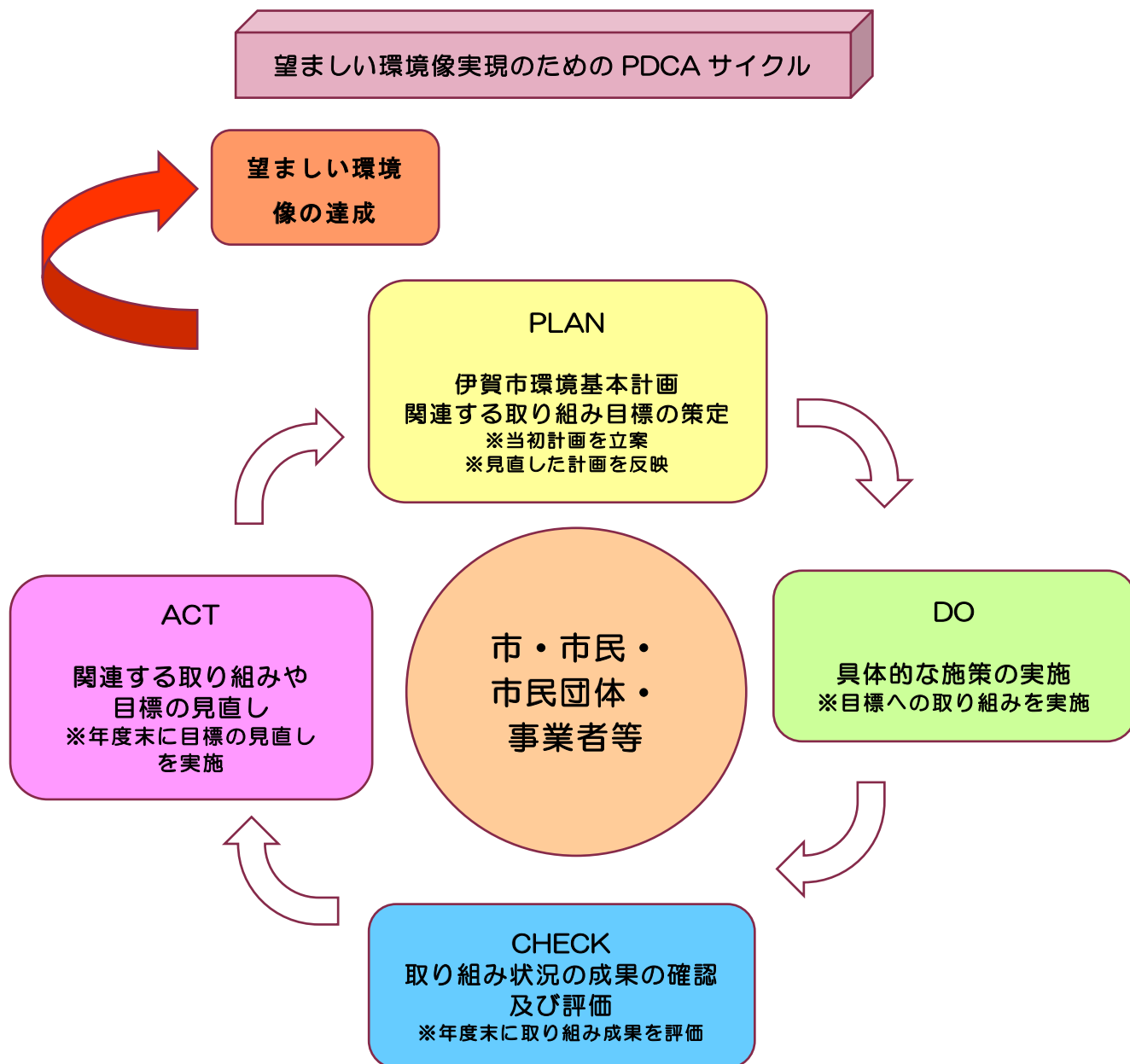
また、本計画は、伊賀市総合計画など、市の他の計画と一体となって取り組む必要があることから、本市庁の各部署と協力・連携することは欠かせません。

さらに、国・県・近隣自治体等からも十分に情報を入手し、連携し協力していく必要があります。



## 2. 計画の進行管理

本計画の進行管理は、PDCA サイクル (Plan-Do-Check-Act) に基づき、計画策定-実行-評価-改善を行うことで、継続的な改善につなげていきます。計画の進行に関しては、毎年度当初目標を設定し、取り組みを行い、年度末に取り組み成果を評価し、目標の見直し(修正)を行い、次年度の目標に反映させていきます。



## 參考資料

## 1. 空き家数と空き家率の推移

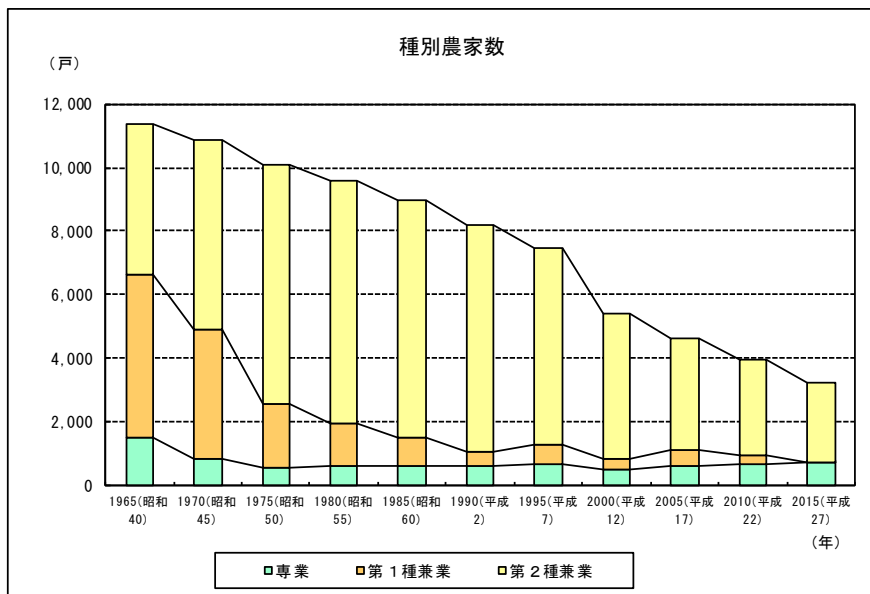
本市における空き家数と空き家率の推移を以下に示します。



注：各年度3月末時点  
出典：「伊賀市空き家対策の現状と展開」伊賀市

## 2. 種別農家数

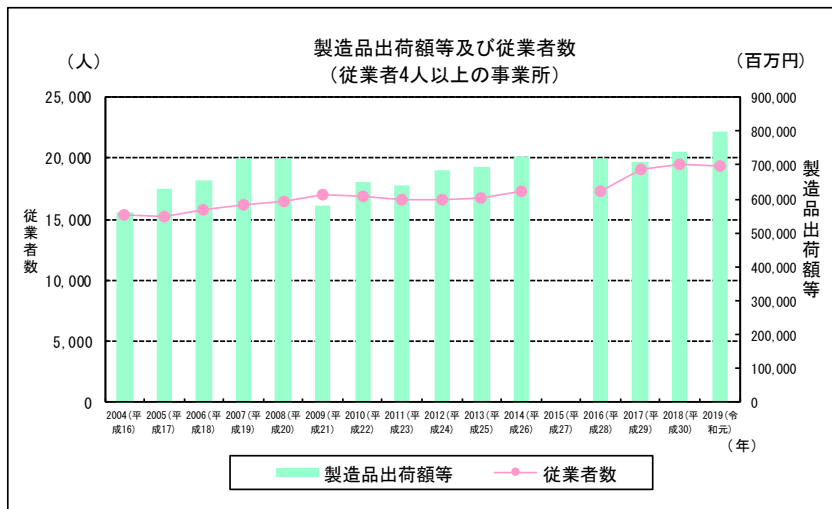
本市における種別農家数を以下に示します。



注：各年2月1日現在。記載した年以外はデータなし。  
出典：「農林業センサス報告書」農林水産省

### 3. 製品出荷額等及び従業員数

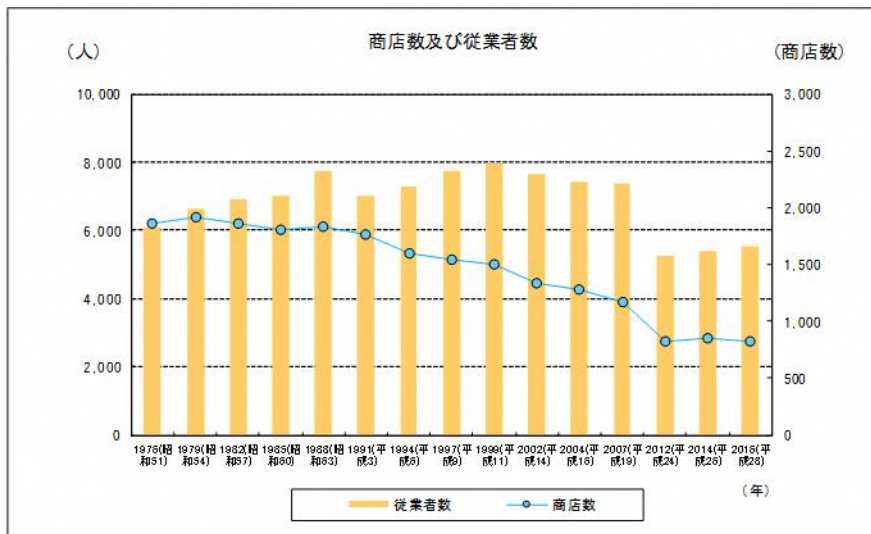
本市における製品出荷額等及び従業員数を以下に示します。



注：各年12月31日現在。R1～H29年は、6月1日現在従業員4人以上の事業所。2015(平成27)年は調査無し。  
出典：「工業統計表」経済産業省、「三重の工業」三重県統計調査室、「経済センサス活動調査」総務省統計局

### 4. 商店数及び従業員数

本市における商店数及び従業員数を以下に示します。



注：1976(昭和51)年、1985(昭和60)年は5月1日現在。  
1979(昭和54)年、1982(昭和57)年、1988(昭和63)年、1997(平成9)年、1999(平成11)年、2002(平成14)年、2004(平成16)年、2007(平成19)年は6月1日現在。  
1991(平成3)年、1994(平成6)年、2014(平成26)年は7月1日現在。飲食店を除く。  
2012(平成24)年は2月1日現在。2016(平成28)年は6月1日現在。飲食店を除く。  
出典：「商業統計表」経済産業省、「三重の商業」三重県統計調査室、「経済センサス活動調査」総務省統計局

## 5. 大気質の測定・調査結果

本市における大気質の測定・調査結果を以下に示します。

### 二酸化硫黄測定結果

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の 2%除外値	環境基準達成状況
伊賀緑ヶ丘中学校	2004(平成16)	0.047	0.007	0.015	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2005(平成17)	0.078	0.008	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2006(平成18)	0.078	0.010	0.025	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2007(平成19)	0.073	0.008	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2008(平成20)	0.047	0.005	0.012	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2009(平成21)	0.083	0.004	0.008	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2010(平成22)	0.057	0.002	0.004	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2011(平成23)	0.046	0.002	0.004	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2012(平成24)	0.010	0.002	0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2013(平成25)	0.009	0.001	0.003	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2014(平成26)	0.008~0.010	0.001	0.002~0.003	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2015(平成27)	0.008	0.000~0.002	0.002~0.003	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2016(平成28)	0.008~0.010	0.001	0.002~0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2017(平成29)	0.008	0.001	0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2018(平成30)	0.011	0.001	0.002	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2019(令和元)	0.010	0.001	0.002	○

注) 環境基準(長期的評価)達成状況: ○達成、●: 未達成

出典: 環境白書(三重県)、三重県サステナビリティレポート(三重県)

### 二酸化窒素測定結果

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の年 間98%値	環境基準達成状況
伊賀緑ヶ丘中学校	2004(平成16)	0.079	0.017	0.031	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2005(平成17)	0.068	0.015	0.029	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2006(平成18)	0.059	0.014	0.028	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2007(平成19)	0.051	0.012	0.024	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2008(平成20)	0.048	0.011	0.023	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2009(平成21)	0.052	0.010	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2010(平成22)	0.059	0.012	0.024	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2011(平成23)	0.048	0.010	0.020	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2012(平成24)	0.048	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2013(平成25)	0.054	0.011	0.024	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2014(平成26)	0.053~0.056	0.010	0.021~0.023	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2015(平成27)	0.046~0.053	0.010	0.021~0.022	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2016(平成28)	0.048~0.055	0.008	0.018	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2017(平成29)	0.044	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2018(平成30)	0.051	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2019(令和元)	0.050	0.007	0.016	○

注) 環境基準(長期的評価)達成状況: ○達成、●: 未達成

出典: 環境白書(三重県)、三重県サステナビリティレポート(三重県)

### 光化学オキシダント測定結果

測定局	年度	昼間の1時間値の 最高値	昼間の1時間値が0.06ppmを 超えた日数と時間数		環境基準達成状況
		単位 (ppm)	日	時間	
伊賀緑ヶ丘中学校	2004(平成16)	0.130	90	507	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2005(平成17)	0.116	68	291	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2006(平成18)	0.080	19	44	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2007(平成19)	0.102	24	79	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2008(平成20)	0.092	36	136	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2009(平成21)	0.130	73	493	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2010(平成22)	0.140	105	613	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2011(平成23)	0.106	49	265	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2012(平成24)	0.136	89	500	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2013(平成25)	0.133	98	533	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2014(平成26)	0.111~0.114	76~84	435~501	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2015(平成27)	0.111~0.115	80~89	428~467	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2016(平成28)	0.099~0.104	59~65	348~383	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2017(平成29)	0.124~0.139	76~86	444~475	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2018(平成30)	0.101~0.112	68~71	384~392	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2019(令和元)	0.115~0.122	69~70	345~382	●

注) 環境基準(長期的評価)達成状況: ○達成、●:未達成

出典: 環境白書(三重県)、三重県サステナビリティレポート(三重県)

### 浮遊粒子状物質測定結果

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の 2%除外値	環境基準達成状況
		単位 (mg/m3)			
伊賀緑ヶ丘中学校	2004(平成16)	0.164	0.026	0.060	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2005(平成17)	0.135	0.021	0.059	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2006(平成18)	0.414	0.026	0.064	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2007(平成19)	0.208	0.024	0.060	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2008(平成20)	0.105	0.022	0.048	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2009(平成21)	0.589	0.019	0.044	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2010(平成22)	0.152	0.020	0.054	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2011(平成23)	0.215	0.020	0.044	●
伊賀緑ヶ丘中学校	2012(平成24)	0.112	0.021	0.053	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2013(平成25)	0.098	0.023	0.054	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2014(平成26)	0.079~0.086	0.017~0.021	0.042~0.049	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2015(平成27)	0.080~0.164	0.016~0.022	0.041~0.050	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2016(平成28)	0.085~0.094	0.015~0.017	0.031~0.035	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2017(平成29)	0.075~0.235	0.014~0.017	0.030~0.036	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2018(平成30)	0.064~0.101	0.014~0.017	0.033~0.040	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	2019(令和元)	0.070~0.089	0.013~0.015	0.035~0.040	○

注) 環境基準(長期的評価)達成状況: ○達成、●:未達成

出典: 環境白書(三重県)、三重県サステナビリティレポート(三重県)

<参考> 二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質の環境基準

○大気汚染に係る環境基準  
1 大気汚染に係る環境基準

物質	環境基準
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。(48.5.16告示)
二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。(53.7.11告示)
光化学オキシダント(O <sub>3</sub> )	1時間値が0.06ppm以下であること。(48.5.8告示)
浮遊粒子状物質(SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。(48.5.8告示)
一酸化炭素(CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。(48.5.8告示)
微小粒子状物質	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。(H21.9.9告示)

○環境基準による大気汚染の状況の評価

ア. 短期的評価	(二酸化窒素及び微小粒子状物質を除く)	測定を行った日についての1時間値の1日平均値もしくは8時間平均値又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。
イ. 長期的評価	二酸化窒素	1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目(たとえば、年間の有効測定日が350日の場合には343(=350×0.98、四捨五入)番目に当たる値(一日平均値の年間98%値)を環境基準と比較して評価を行う。
	浮遊粒子状物質、二酸化硫黄及び一酸化炭素	1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値(例えば、年間の有効測定日が350日の場合には7(=350×0.02、四捨五入)個の測定値)を除外した後の最高値(1日平均値の年間2%除外値)を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日間以上連続した場合には非達成と評価する。
	微小粒子状物質	長期基準に対応した環境基準達成状況は、長期的評価として測定結果の1年平均値について評価を行うものとする。 短期基準に対応した環境基準達成状況は、短期基準が健康リスクの上昇や統計学的な安定性を考慮して年間98パーセンタイル値を超える高濃度領域の濃度出現を減少させるために設定されることを踏まえ、長期的評価としての測定結果の年間98パーセンタイル値を日平均値の代表値として選択し、評価を行うものとする。 測定局における測定結果(1年間平均値及び98パーセンタイル値)を踏まえた環境基準達成状況については、長期基準及び短期基準の達成若しくは非達成の評価を各行い、その上で両者の基準を達成することによって評価するものとする。 ただし、年間の総有効測定日数が250日に満たない測定局については、環境基準による大気汚染の評価の対象とはしないものとする。

ダイオキシン類調査結果

測定地点	年度	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季	環境基準
		単位 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )					
伊賀市役所	2004(平成16)	0.055	0.092	0.029	0.065	0.035	年平均 0.6以下
伊賀市島ヶ原支所	2004(平成16)	0.16	0.021	0.032	0.54	0.030	
伊賀市役所	2005(平成17)	0.063	0.034	0.044	0.1	0.074	
伊賀市役所	2006(平成18)	0.035	0.014	0.034	0.047	0.046	
伊賀市役所	2007(平成19)	0.028	0.019	0.022	0.044	0.027	
伊賀市役所	2009(平成21)	0.0210	0.0260	0.0140	0.0310	0.0130	
伊賀市役所	2011(平成23)	0.020	0.018	0.032	0.012	0.018	
伊賀市役所	2013(平成25)	0.015	0.0047	0.018	0.022	0.017	
伊賀市役所	2015(平成27)	0.045	-	0.016	-	0.073	
伊賀市役所	2017(平成29)	0.012	-	0.0070	-	0.016	
上野高校	2019(令和元)	0.014	-	0.012	-	0.016	

出典：ダイオキシン類に係る環境調査結果について(三重県)、環境白書(三重県)



### 有害大気汚染物質測定結果

測定局	年度	ベンゼン		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン	
		単位 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	環境基準 達成状況	単位 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	環境基準 達成状況	単位 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	環境基準	単位 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	環境基準 達成状況
伊賀緑ヶ丘中学校	2005(平成17)	1.3	○	0.93	○	0.27	○	4.9	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2006(平成18)	1.4	○	0.55	○	0.22	○	1.7	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2007(平成19)	1.3	○	0.56	○	0.19	○	1.5	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2008(平成20)	1.0	○	1.00	○	0.16	○	1.4	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2009(平成21)	1.1	○	0.360	○	0.15	○	1.5	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2010(平成22)	0.90	○	0.14	○	0.15	○	1.6	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2011(平成23)	0.97	○	0.20	○	0.20	○	1.2	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2012(平成24)	0.79	○	0.16	○	0.17	○	1.1	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2013(平成25)	0.79	○	0.12	○	0.092	○	-	-
伊賀緑ヶ丘中学校	2014(平成26)	0.75	○	0.10	○	0.083	○	2.5	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2015(平成27)	0.65	○	0.098	○	0.066	○	1.3	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2016(平成28)	0.60	○	0.098	○	0.12	○	1.4	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2017(平成29)	0.63	○	0.13	○	0.071	○	1.2	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2018(平成30)	0.39	○	0.07	○	0.045	○	0.7	○
伊賀緑ヶ丘中学校	2019(令和元)	0.470	○	0.110	○	0.064	○	0.69	○
環境基準		3.0		200		200		150	

注：2013（平成25）年度のジクロロメタンはデータなし。  
 出典：環境白書（三重県）、三重県サステナビリティレポート（三重県）

6. 水質・底質の測定・調査結果

本市における河川、地下水の水質及び底質の調査・測定結果を以下に示します。

生物化学的酸素要求量（河川水）（BOD）

水域名	地点名	類型	単位	環境基準	2003 (平成15)年度		2004 (平成16)年度		2005 (平成17)年度		2006 (平成18)年度		2007 (平成19)年度		2008 (平成20)年度		2009 (平成21)年度		2010 (平成22)年度		2011 (平成23)年度	
					BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否
木津川	大野木橋	A	mg/L	2	1.6	○	1.2	○	1.7	○	1.1	○	1.0	○	1.0	○	1.0	○	1.1	○	1.2	○
木津川	岩倉橋	A	mg/L	2	1.8	○	1.9	○	2.5	○	1.5	○	1.5	○	1.1	○	1.3	○	1.3	○	1.5	○
木津川	島ヶ原大橋	A	mg/L	2	1.9	○	1.5	○	2.5	○	1.5	○	2.1	×	1.2	○	1.6	○	1.6	○	1.7	○
柘植川	山神橋	A	mg/L	2	2.0	○	1.8	○	1.2	○	0.9	○	1.0	○	1.3	○	1.4	○	1.6	○	1.6	○
服部川	伊賀上野橋	A	mg/L	2	1.6	○	1.7	○	2.2	○	1.4	○	1.5	○	0.9	○	1.1	○	1.3	○	1.4	○
久米川	芝床橋	B	mg/L	3	3.3	×	2.8	○	2.5	○	2.5	○	2.4	○	3.7	×	4.0	×	4.4	×	4.5	×
比自岐川	栢川橋	A	mg/L	2	1.5	○	1.5	○	1.0	○	0.9	○	0.8	○	1.0	○	0.8	○	1.1	○	1.4	○

水域名	地点名	類型	単位	環境基準	2012 (平成24)年度		2013 (平成25)年度		2014 (平成26)年度		2015 (平成27)年度		2016 (平成28)年度		2017 (平成29)年度		2018 (平成30)年度		2019 (令和元)年度	
					BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否	BOD 75%値	適否
木津川	大野木橋	A	mg/L	2	1.0	○	1.0	○	1.2	○	1.0	○	1.0	○	1.2	○	0.7	○	0.8	○
木津川	岩倉橋	A	mg/L	2	1.2	○	1.2	○	1.4	○	1.2	○	0.9	○	1.5	○	0.9	○	1.2	○
木津川	島ヶ原大橋	A	mg/L	2	1.3	○	1.3	○	1.7	○	1.3	○	1.2	○	1.8	○	1.0	○	1.3	○
柘植川	山神橋	A	mg/L	2	1.6	○	1.7	○	1.5	○	1.3	○	1.5	○	1.9	○	2.0	○	1.9	○
服部川	伊賀上野橋	A	mg/L	2	1.2	○	1.0	○	1.5	○	1.2	○	1.0	○	1.3	○	1.0	○	1.1	○
久米川	芝床橋	B	mg/L	3	3.4	×	4.5	×	4.1	×	3.6	×	2.7	○	5.3	×	4.0	×	3.7	×
比自岐川	栢川橋	A	mg/L	2	1.0	○	1.0	○	1.2	○	1.0	○	0.7	○	0.7	○	1.2	○	0.9	○

注) 環境基準適合状況：○適合、×：否適合  
 出典：環境白書（三重県）、三重県サステナビリティレポート（三重県）

地下水定期モニタリング調査結果

地点名		伊賀市上友田	伊賀市柘植町	伊賀市出後	環境基準
物質名	単位	測定年月日：2019（令和元）年2月1日			
カドミウム	mg/L	<0.00003	<0.00003	<0.00003	0.003以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.05以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	<0.00002	<0.00002	<0.00002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.00004	<0.00004	<0.00004	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.30	0.56	1.0	10以下
ふっ素	mg/L	0.10	0.09	0.13	0.8以下
ほう素	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	1以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下

出展：三重県HP「三重の環境」公共用水域および地下水の水質調査測定結果の概要

### ダイオキシン類調査結果（河川水質）

河川名	地点名	単位	環境基準	2003 (平成15)年度		2004 (平成16)年度		2005 (平成17)年度		2006 (平成18)年度		2007 (平成19)年度		2008 (平成20)年度		2009 (平成21)年度		2010 (平成22)年度		2011 (平成23)年度	
				結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否
久米川	芝床橋	pg-TEQ/L	1以下	0.60	○	0.75	○	0.98	○	0.55	○	0.55	○	-	-	-	-	0.21	○	0.35	○
比自岐川	拵川橋			0.58	○	0.39	○	1.1	×	0.37	○	0.28	○	0.370	○	0.830	○	0.28	○	0.35	○
柘植川	山神橋			0.21	○	0.29	○	0.48	○	0.50	○	-	-	0.360	○	-	-	0.19	○	0.31	○
河川名	地点名	単位	環境基準	2012 (平成24)年度		2013 (平成25)年度		2014 (平成26)年度		2015 (平成27)年度		2016 (平成28)年度		2017 (平成29)年度		2018 (平成30)年度		2019 (令和元)年度			
				結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否		
久米川	芝床橋	pg-TEQ/L	1以下	1.10	×	0.84	○	0.42	○	0.55	○	1.4	×	0.38	○	0.40	○	0.49	○		
比自岐川	拵川橋			0.83	○	0.4	○	0.30	○	0.21	○	0.46	○	0.18	○	0.20	○	0.22	○		
柘植川	山神橋			0.76	○	0.41	○	0.36	○	0.23	○	0.86	○	0.31	○	0.15	○	0.25	○		

注：2019(令和元)年度は山神橋から土橋橋へ測定地点変更  
 出典：ダイオキシン類に係る環境調査結果について（三重県）、環境白書（三重県）

### ダイオキシン類調査結果（河川底質）

河川名	地点名	単位	環境基準	2003 (平成15)年度		2004 (平成16)年度		2005 (平成17)年度		2006 (平成18)年度		2007 (平成19)年度		2008 (平成20)年度		2009 (平成21)年度		2010 (平成22)年度		2011 (平成23)年度	
				結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否
久米川	芝床橋	pg-TEQ/g	150以下	1.4	○	1.6	○	0.52	○	-	-	-	-	-	-	-	-	0.83	○	5.5	○
比自岐川	拵川橋			1.3	○	7.5	○	4.1	○	4.0	○	1.9	○	0.46	○	8.5	○	6	○	22	○
柘植川	山神橋			2.4	○	0.70	○	0.31	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	○	0.52
河川名	地点名	単位	環境基準	2012 (平成24)年度		2013 (平成25)年度		2014 (平成26)年度		2015 (平成27)年度		2016 (平成28)年度		2017 (平成29)年度		2018 (平成30)年度		2019 (令和元)年度			
				結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否	結果	適否		
久米川	芝床橋	pg-TEQ/g	150以下	0.20	○	0.5	○	0.72	○	0.32	○	0.82	○	0.47	○	0.32	○	0.71	○		
比自岐川	拵川橋			32	○	3.1	○	3.9	○	0.18	○	3.1	○	1.90	○	0.14	○	3.40	○		
柘植川	山神橋			0.24	○	0.39	○	0.70	○	0.30	○	1.5	○	0.24	○	0.28	○	0.54	○		

注：2019(令和元)年度は山神橋から土橋橋へ測定地点変更  
 出典：ダイオキシン類に係る環境調査結果について（三重県）、環境白書（三重県）

### ダイオキシン類調査結果（地下水）

調査地点	単位	環境基準	2007 (平成19)年度	2013 (平成25)年度	2019 (令和元)年度
愛田地内	pg-TEQ/L	1以下	-	-	0.049
柘植町			-	0.025	-
伊賀市予野			0.072	-	-

注：-はデータなし。

出典：ダイオキシン類に係る環境調査結果について（三重県）、環境白書（三重県）

## 7. 騒音・振動の測定結果

本市における騒音・振動の測定結果を以下に示します。

### 騒音測定結果（2019（令和元）年度）

区分	環境基準 類型	用途地域 (路線名)	測定地点	等価騒音レベル (dB)					
				昼間			夜間		
				測定値	環境基準	適否	測定値	環境基準	適否
一般環境	A	第一種中高層住居専用地域	津地方検察庁伊賀支部	48	55以下	○	37	45以下	○
	B	第一種住居地域	市街地西部地区市民センター	45	55以下	○	43	45以下	○
	C	近隣商業地域	三重県伊賀庁舎	48	60以下	○	43	50以下	○
道路交通	B	一般国道25号	伊賀市守田町	65	70以下	○	61	65以下	○
	C	一般国道422号	伊賀市小田町	66	70以下	○	60	65以下	○
	B	県道高倉佐那具線	伊賀市東高倉	65	70以下	○	56	65以下	○

出典：三重県サステナビリティレポート（三重県）

## 自動車交通振動測定結果（2019（令和元）年度）

用途地域	路線名	測定地点	振動レベル（dB）					
			昼間			夜間		
			測定値	要請限度	適否	測定値	要請限度	適否
準工業地域	国道163号及び422号線	小田西交差点南	39	70以下	○	30	65以下	○

出典：三重県サステナビリティレポート（三重県）

## 8. 土壌の測定結果

本市における土壌の調査結果を以下に示します。

### ダイオキシン類調査結果（土壌）

調査地点	単位	環境基準	2004 （平成16）年度	2005 （平成17）年度	2013 （平成25）年度	2019 （令和元）年度
阿山運動公園第一運動公園グラウンド	pg-TEQ/g	1000以下	-	-	-	0.16
柘植町			-	-	2.1	-
伊賀市予野			-	0.11	-	-
伊賀市蓮池			0.41	-	-	-
伊賀市才良			0.055	-	-	-
伊賀市中友田			0.012	-	-	-
伊賀市坂下			0.18	-	-	-
伊賀市高尾			0.78	-	-	-

注：-はデータなし。

出典：ダイオキシン類に係る環境調査結果について（三重県）、環境白書（三重県）

## 9. 本市の温室効果ガスの発生状況（推計値）

本市における温室効果ガスの発生状況（推計値）を以下に示します。

年度	2013 （平成25） 年度	2014 （平成26） 年度	2015 （平成27） 年度	2016 （平成28） 年度	2017 （平成29） 年度	2018 （平成30） 年度
温室効果ガス 排出量 （千tCO <sub>2</sub> ）	1,478	1,449	1,387	1,421	1,417	1,400

出典：環境省HP

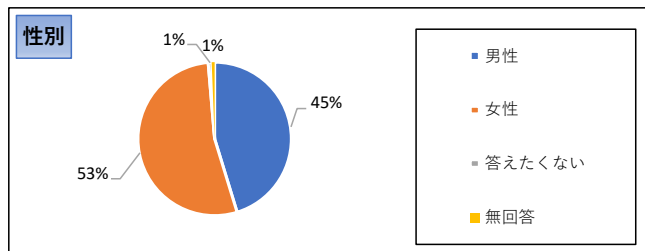
## 10. アンケート調査結果（2020年11月～12月実施）

### （1）一般市民（配布数：1800人、回収数：813人）

#### 問1 あなたの性別は？

男性が45%、女性が53%でした。

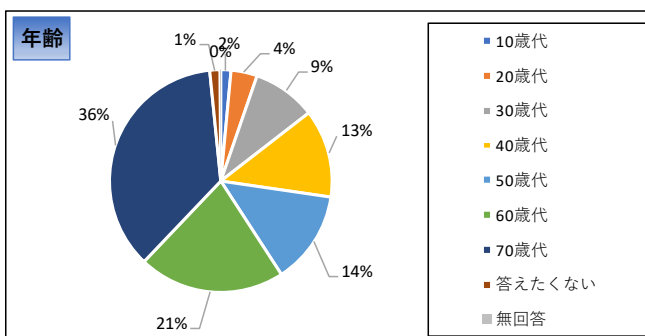
	人数(人)	割合(%)
男性	368	45%
女性	434	53%
答えたくない	6	1%
無回答	5	1%
合計	813	100%



#### 問2 あなたの年齢は？

60歳代、70歳代以上が合わせて57%と半数以上を占めています。

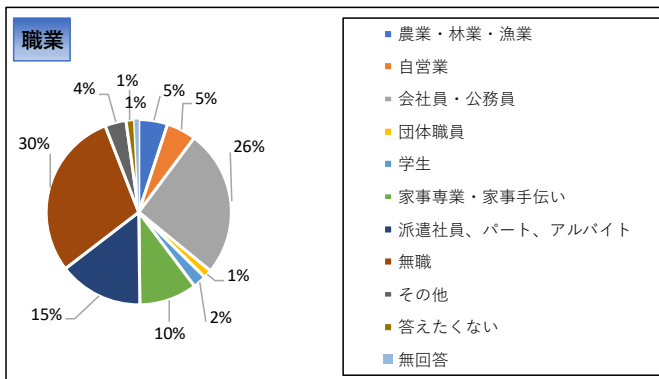
	人数(人)	割合(%)
10歳代	12	1%
20歳代	31	4%
30歳代	75	9%
40歳代	104	13%
50歳代	110	14%
60歳代	173	21%
70歳代	295	36%
答えたくない	12	1%
無回答	1	0%
合計	813	100%



#### 問3 あなたの職業は？

無職が30%と最も多く、次いで会社員・公務員が26%でした。

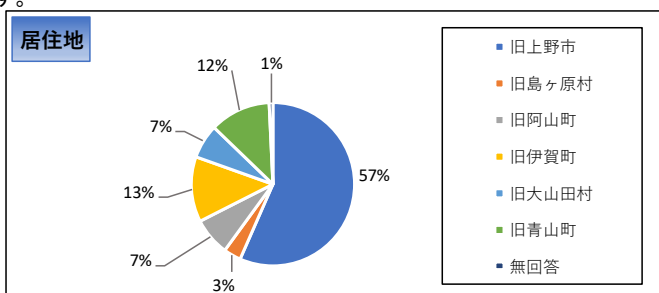
	人数(人)	割合(%)
農業・林業・漁業	41	5%
自営業	42	5%
会社員・公務員	209	26%
団体職員	12	1%
学生	19	2%
家事専業・家事手伝い	82	10%
派遣社員、パート、アルバイト	120	15%
無職	240	30%
その他	30	4%
答えたくない	12	1%
無回答	6	1%
合計	813	100%



#### 問4 あなたのお住いの地区は？

旧上野市が57%と最も多く、次いで旧伊賀町の13%となっています。

	人数(人)	割合(%)
旧上野市	460	57%
旧島ヶ原村	28	3%
旧阿山町	61	8%
旧伊賀町	105	13%
旧大山田村	55	7%
旧青山町	98	12%
無回答	6	1%
合計	813	100%

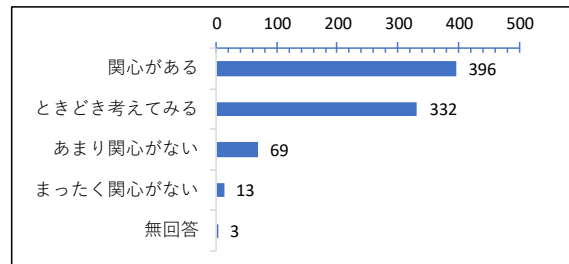


## I 環境に対する関心度

**問5 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境について、関心はありますか。**

「関心がある」、「ときどき考えてみる」を合わせると約90%となり、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」の約10%を大きく上回り、関心の高さを示しています。

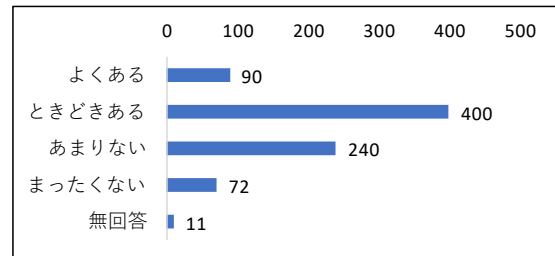
	人数(人)	割合(%)
関心がある	396	49%
ときどき考えてみる	332	41%
あまり関心がない	69	8%
まったく関心がない	13	2%
無回答	3	0%
合計	813	100%



**問6 家庭や職場などで環境の話題について話し合ったことはありますか。**

「よくある」、「ときどきある」を合わせると約60%となり、「あまりない」、「まったくない」の約39%を上回っていました。

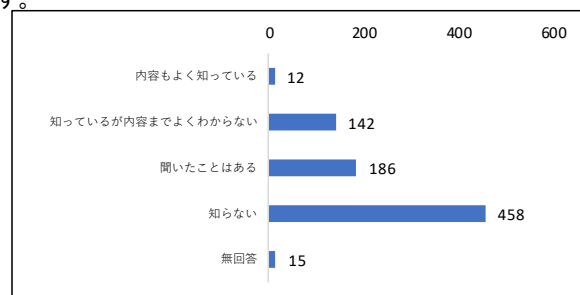
	人数(人)	割合(%)
よくある	90	11%
ときどきある	400	49%
あまりない	240	30%
まったくない	72	9%
無回答	11	1%
合計	813	100%



**問7 あなたは伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度～2015年度)を知っていますか。**

「知らない」が約56%と半数を超えており、周知されていないことが伺えます。

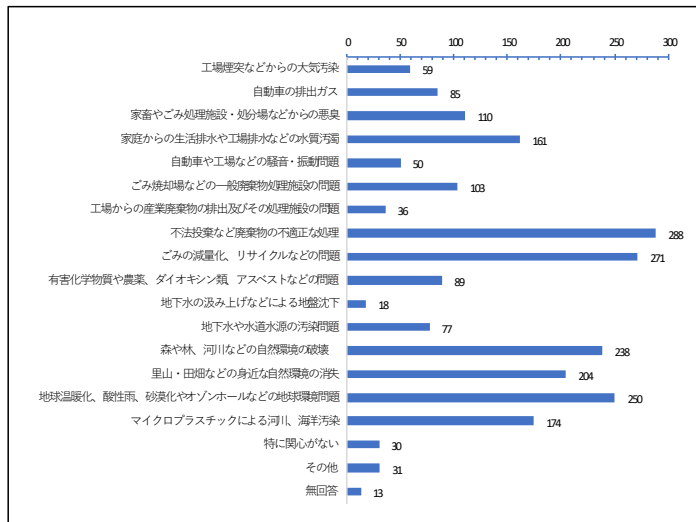
	人数(人)	割合(%)
内容もよく知っている	12	1%
知っているが内容までよくわからない	142	17%
聞いたことはある	186	23%
知らない	458	56%
無回答	15	2%
合計	813	100%



**問8 あなたの現在、関心のある環境問題は。**

「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」が13%と最も多く、  
 次いで「ごみの減量化、リサイクルなどの問題」12%、  
 「地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題」が11%となっています。

	人数(人)	割合(%)
工場煙突などからの大気汚染	59	3%
自動車の排出ガス	85	4%
家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	110	5%
家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	161	7%
自動車や工場などの騒音・振動問題	50	2%
ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	103	5%
工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	36	2%
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	288	13%
ごみの減量化、リサイクルなどの問題	271	12%
有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、アスベストなどの問題	89	4%
地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	18	1%
地下水や水道水源の汚染問題	77	3%
森や林、河川などの自然環境の破壊	238	10%
里山・田畑などの身近な自然環境の消失	204	9%
地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	250	11%
マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	174	8%
特に関心がない	30	1%
その他	31	1%
無回答	13	1%
合計	2287	100%

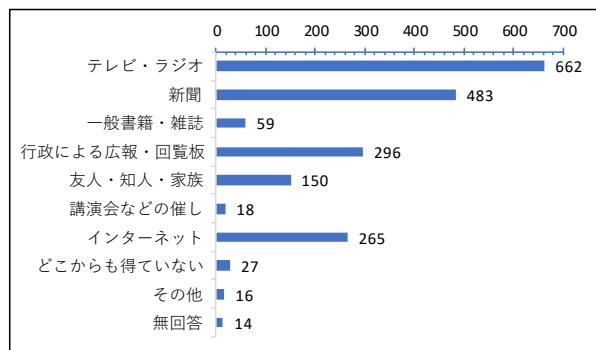


**II 環境の情報について**

**問9 環境に関する情報はどこで入手しますか。**

「テレビ・ラジオ」及び「新聞」が最も多く、マスメディア主体となっており、  
 次いで「行政による広報・回覧板」となっています。

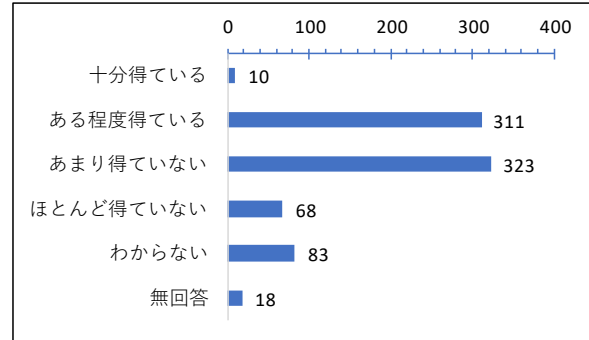
	人数(人)	割合(%)
テレビ・ラジオ	662	33%
新聞	483	24%
一般書籍・雑誌	59	3%
行政による広報・回覧板	296	15%
友人・知人・家族	150	8%
講演会などの催し	18	1%
インターネット	265	13%
どこからも得ていない	27	1%
その他	16	1%
無回答	14	1%
合計	1990	100%



**問10 環境に関する情報入手は十分ですか。**

「あまり得ていない」が40%と最も多く、次いで「ある程度得ている」が38%となっています。

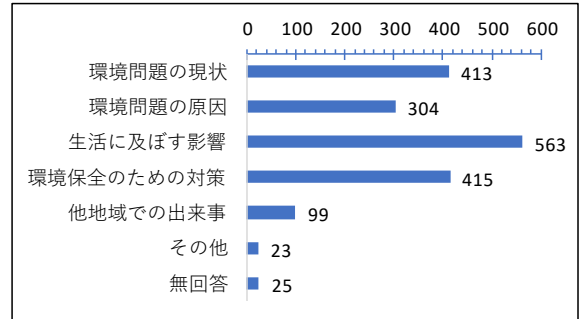
	人数(人)	割合(%)
十分得ている	10	1%
ある程度得ている	311	38%
あまり得ていない	323	40%
ほとんど得ていない	68	8%
わからない	83	10%
無回答	18	2%
合計	813	100%



**問11 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何か。**

「生活に及ぼす影響」が31%と最も多く、次いで「環境保全のための対策」が23%、「環境問題の現状」が22%となっています。

	人数(人)	割合(%)
環境問題の現状	413	22%
環境問題の原因	304	17%
生活に及ぼす影響	563	31%
環境保全のための対策	415	23%
他地域での出来事	99	5%
その他	23	1%
無回答	25	1%
合計	1842	100%



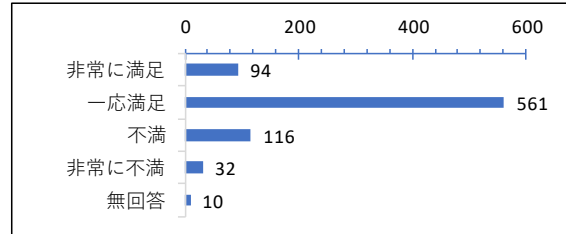


### Ⅲ 環境の現状に対する評価

問12 私たちが日常暮らしているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、満足していますか。

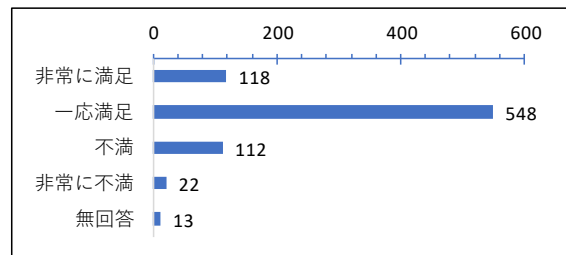
#### ア. 空気やにおいのさわやかさ(空気の汚れや悪臭がなくさわやかな空気であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	94	12%
一応満足	561	69%
不満	116	14%
非常に不満	32	4%
無回答	10	1%
合計	813	100%



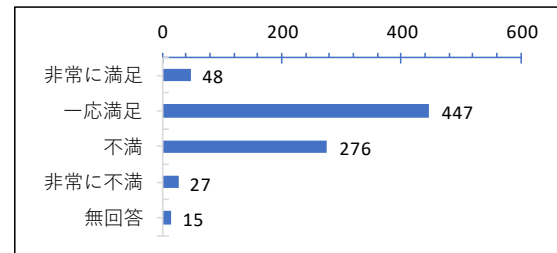
#### イ. 音の静かさ(車や工場の騒音や振動が気にならないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	118	15%
一応満足	548	67%
不満	112	14%
非常に不満	22	3%
無回答	13	2%
合計	813	100%



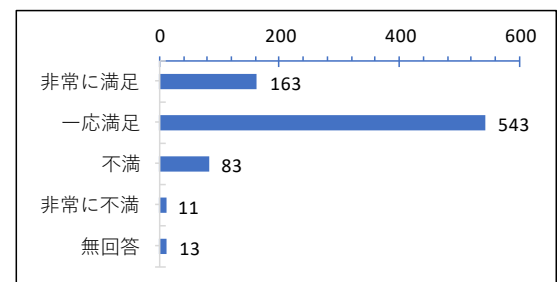
#### ウ. 川やため池の水のきれいさ(身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	48	6%
一応満足	447	55%
不満	276	34%
非常に不満	27	3%
無回答	15	2%
合計	813	100%



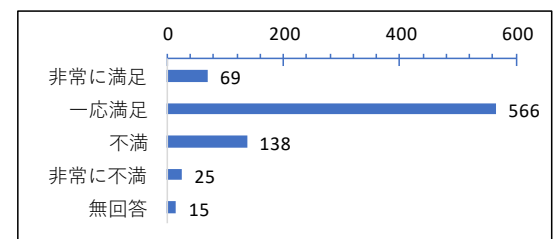
#### エ. 自然の緑の豊かさ(山や森の木々が豊富で多彩であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	163	20%
一応満足	543	67%
不満	83	10%
非常に不満	11	1%
無回答	13	2%
合計	813	100%



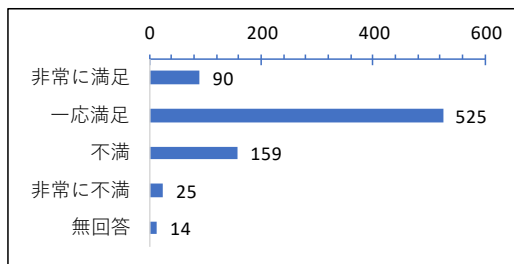
#### オ. 公園や広場などまちの緑の豊かさ(身近な公園や街路樹の木々が豊富であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	69	8%
一応満足	566	70%
不満	138	17%
非常に不満	25	3%
無回答	15	2%
合計	813	100%



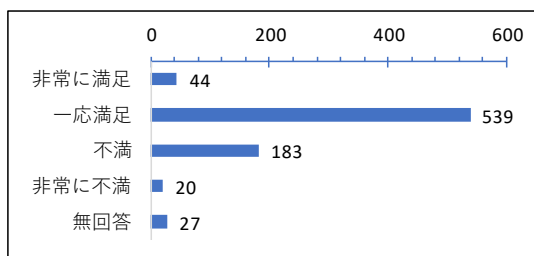
カ. 自然の生物とのふれあい(野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	90	11%
一応満足	525	65%
不満	159	20%
非常に不満	25	3%
無回答	14	2%
合計	813	100%



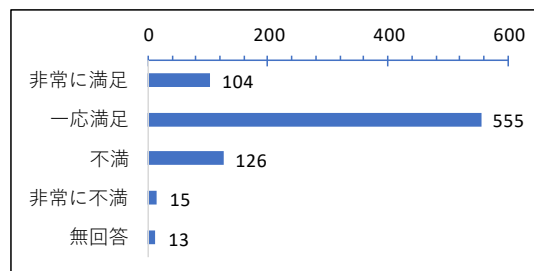
キ. 文化財への接しやすさ(史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	44	5%
一応満足	539	66%
不満	183	23%
非常に不満	20	2%
無回答	27	3%
合計	813	100%



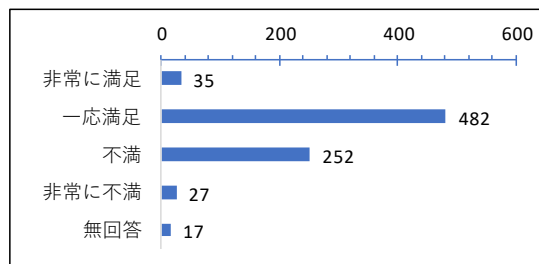
ク. 自然の景色の美しさ(山並みや水辺などの景観の美しさ)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	104	13%
一応満足	555	68%
不満	126	15%
非常に不満	15	2%
無回答	13	2%
合計	813	100%



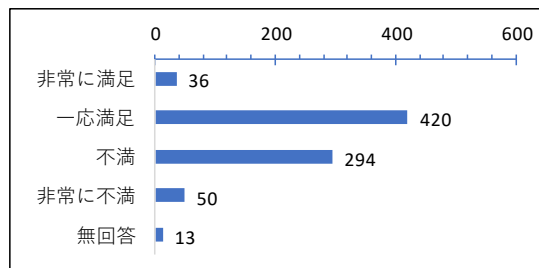
ケ. 街並みの景色の美しさ(建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	35	4%
一応満足	482	59%
不満	252	31%
非常に不満	27	3%
無回答	17	2%
合計	813	100%



コ. まちの清潔さ(ごみが落ちていない、側溝などが汚くない)

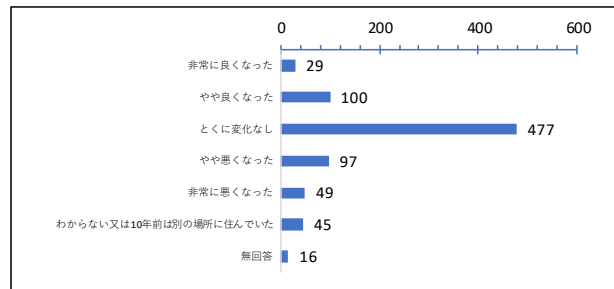
	人数(人)	割合(%)
非常に満足	36	4%
一応満足	420	52%
不満	294	36%
非常に不満	50	6%
無回答	13	2%
合計	813	100%



問13 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、10年ぐらい前(一昔前)と比較して、良くなっていると思いますか。

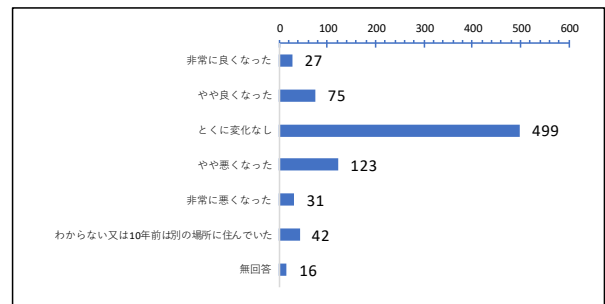
ア. 空気やにおいのさわやかさ(空気の汚れや悪臭がなくてさわやかな空気であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	29	4%
やや良くなった	100	12%
とくに変化なし	477	59%
やや悪くなった	97	12%
非常に悪くなった	49	6%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	45	6%
無回答	16	2%
合計	813	100%



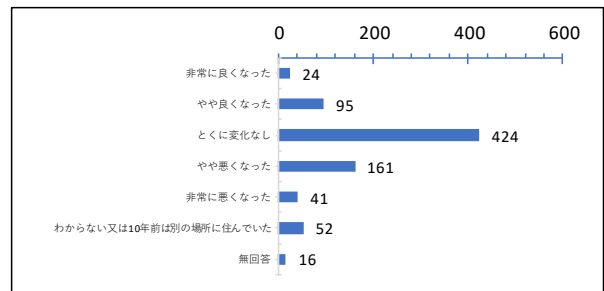
イ. 音の静かさ(車や工場の騒音や振動が気にならないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	27	3%
やや良くなった	75	9%
とくに変化なし	499	61%
やや悪くなった	123	15%
非常に悪くなった	31	4%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	42	5%
無回答	16	2%
合計	813	100%



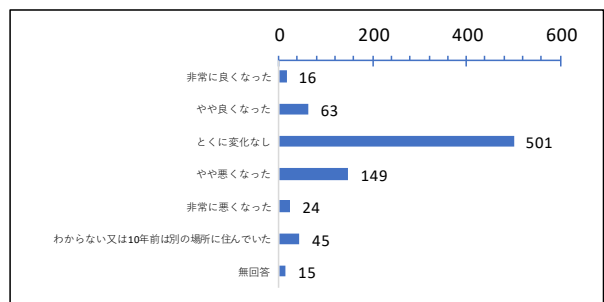
ウ. 川やため池の水のきれいさ(身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	24	3%
やや良くなった	95	12%
とくに変化なし	424	52%
やや悪くなった	161	20%
非常に悪くなった	41	5%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	52	6%
無回答	16	2%
合計	813	100%



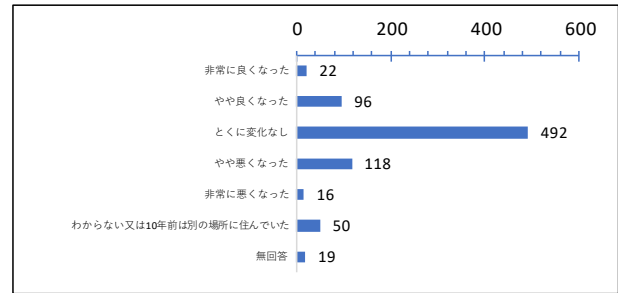
エ. 自然の緑の豊かさ(山や森の木々が豊富で多彩であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	16	2%
やや良くなった	63	8%
とくに変化なし	501	62%
やや悪くなった	149	18%
非常に悪くなった	24	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	45	6%
無回答	15	2%
合計	813	100%



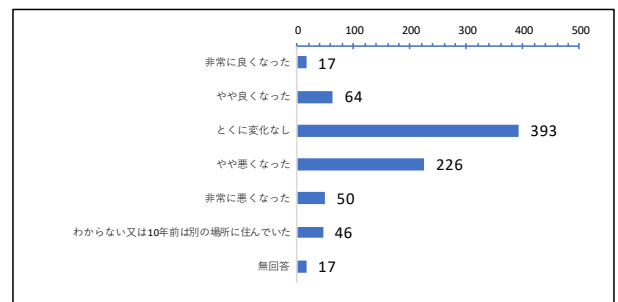
オ. 公園や広場などまちの緑の豊かさ(身近な公園や街路樹の木々が豊富であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	22	3%
やや良くなった	96	12%
とくに変化なし	492	61%
やや悪くなった	118	15%
非常に悪くなった	16	2%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	50	6%
無回答	19	2%
合計	813	100%



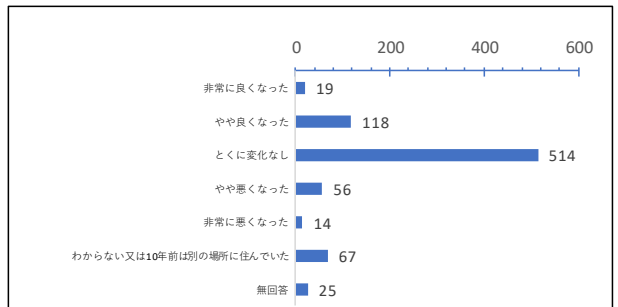
カ. 自然の生物とのふれあい(野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	17	2%
やや良くなった	64	8%
とくに変化なし	393	48%
やや悪くなった	226	28%
非常に悪くなった	50	6%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	46	6%
無回答	17	2%
合計	813	100%



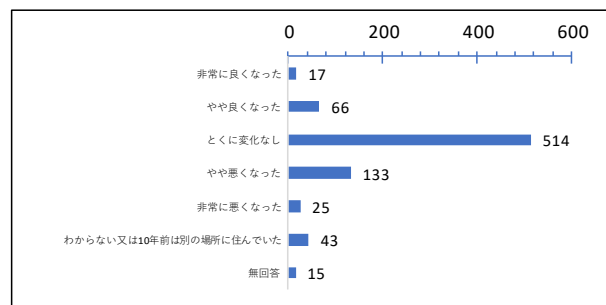
キ. 文化財への接しやすさ(史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	19	2%
やや良くなった	118	15%
とくに変化なし	514	63%
やや悪くなった	56	7%
非常に悪くなった	14	2%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	67	8%
無回答	25	3%
合計	813	100%



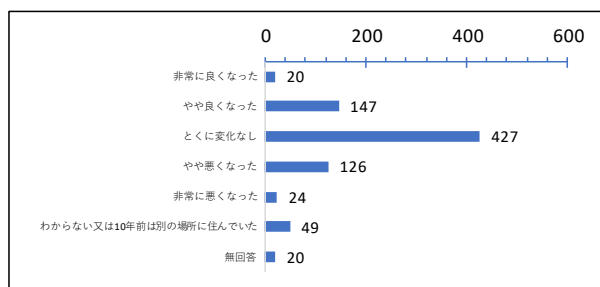
ク. 自然の景色の美しさ(山並みや水辺などの景観の美しさ)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	17	2%
やや良くなった	66	8%
とくに変化なし	514	63%
やや悪くなった	133	16%
非常に悪くなった	25	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	43	5%
無回答	15	2%
合計	813	100%



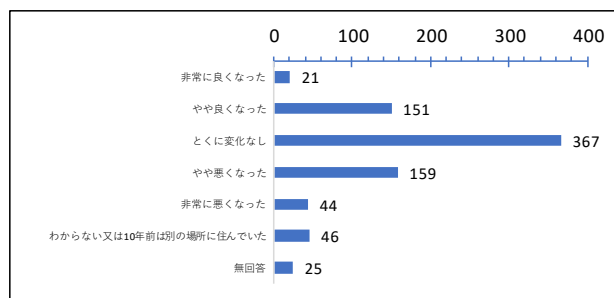
ケ. 街並みの景色の美しさ(建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	20	2%
やや良くなった	147	18%
とくに変化なし	427	53%
やや悪くなった	126	15%
非常に悪くなった	24	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	49	6%
無回答	20	2%
合計	813	100%



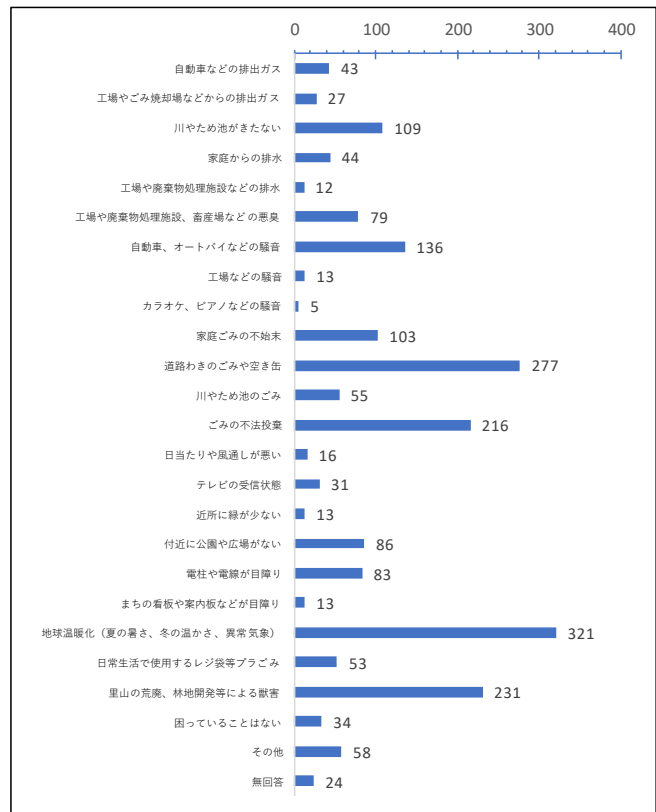
コ. まちの清潔さ(ごみが落ちていない、側溝などが汚くない)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	21	3%
やや良くなった	151	19%
とくに変化なし	367	45%
やや悪くなった	159	20%
非常に悪くなった	44	5%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	46	6%
無回答	25	3%
合計	813	100%



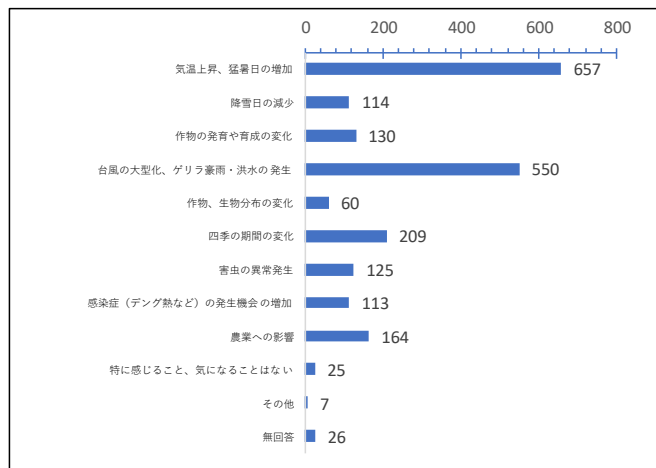
**問14 私たちの身近な暮らしの中で環境面で困っていること、気になることは何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
自動車などの排出ガス	43	2%
工場やごみ焼却場などからの排出ガス	27	1%
川やため池がきたない	109	5%
家庭からの排水	44	2%
工場や廃棄物処理施設などの排水	12	1%
工場や廃棄物処理施設、畜産場などの悪臭	79	4%
自動車、オートバイなどの騒音	136	7%
工場などの騒音	13	1%
カラオケ、ピアノなどの騒音	5	0%
家庭ごみの不始末	103	5%
道路わきのごみや空き缶	277	13%
川やため池のごみ	55	3%
ごみの不法投棄	216	10%
日当たりや風通しが悪い	16	1%
テレビの受信状態	31	1%
近所に緑が少ない	13	1%
付近に公園や広場がない	86	4%
電柱や電線が目障り	83	4%
まちの看板や案内板などが目障り	13	1%
地球温暖化(夏の暑さ、冬の温かさ、異常気象)	321	15%
日常生活で使用するレジ袋等プラスチックごみ	53	3%
里山の荒廃、林地開発等による獣害	231	11%
困っていることはない	34	2%
その他	58	3%
無回答	24	1%
合計	2082	99%



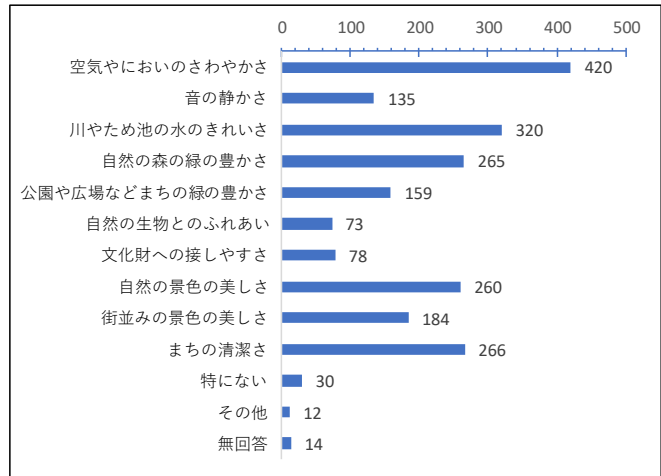
**問15 地球温暖化について感じることは何ですか。また、気になることは何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
気温上昇、猛暑日の増加	657	30%
降雪日の減少	114	5%
作物の発育や育成の変化	130	6%
台風の大型化、ゲリラ豪雨・洪水の発生	550	25%
作物、生物分布の変化	60	3%
四季の期間の変化	209	10%
害虫の異常発生	125	6%
感染症(デング熱など)の発生機会の増加	113	5%
農業への影響	164	8%
特に感じる事、気になることはない	25	1%
その他	7	0%
無回答	26	1%
合計	2180	100%



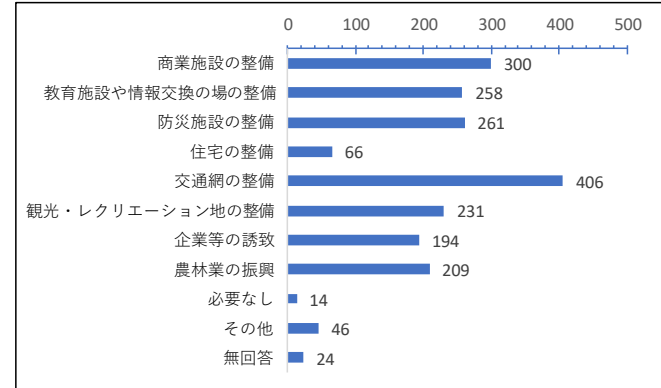
**問16 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、最も大切なものは何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
空気やにおいのさわやかさ	420	19%
音の静かさ	135	6%
川やため池の水のきれいさ	320	14%
自然の森の緑の豊かさ	265	12%
公園や広場などまちの緑の豊かさ	159	7%
自然の生物とのふれあい	73	3%
文化財への接しやすさ	78	4%
自然の景色の美しさ	260	12%
街並みの景色の美しさ	184	8%
まちの清潔さ	266	12%
特になし	30	1%
その他	12	1%
無回答	14	1%
合計	2216	100%



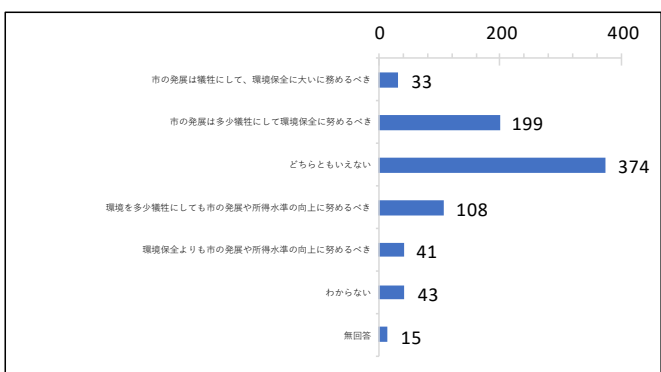
**問17 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
商業施設の整備	300	15%
教育施設や情報交換の場の整備	258	13%
防災施設の整備	261	13%
住宅の整備	66	3%
交通網の整備	406	20%
観光・レクリエーション地の整備	231	12%
企業等の誘致	194	10%
農林業の振興	209	11%
必要なし	14	1%
その他	46	2%
無回答	24	1%
合計	1985	100%



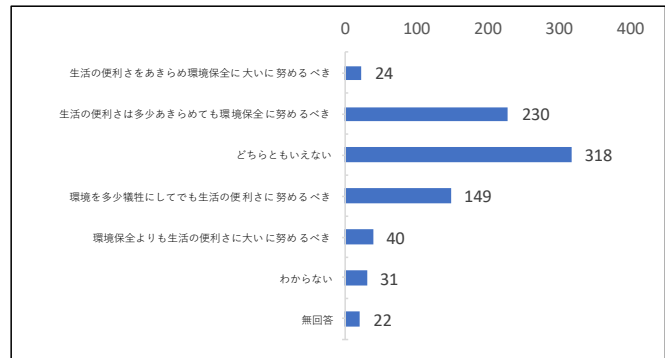
**問18 環境を守ることと、伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることと、どちらを優先すべきですか。**

	人数(人)	割合(%)
市の発展は犠牲にして、環境保全に大いに努めるべき	33	4%
市の発展は多少犠牲にして環境保全に努めるべき	199	24%
どちらともいえない	374	46%
環境を多少犠牲にしても市の発展や所得水準の向上に努めるべき	108	13%
環境保全よりも市の発展や所得水準の向上に努めるべき	41	5%
わからない	43	5%
無回答	15	2%
合計	813	100%



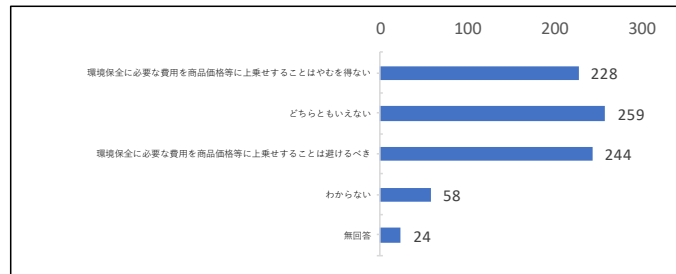
**問19 環境を守ることと私たちのくらしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。**

	人数(人)	割合(%)
生活の便利さをあきらめ環境保 に大いに努めるべき	24	3%
生活の便利さは多少あきらめても 環境保に努めるべき	230	28%
どちらともいえない	318	39%
環境を多少犠牲にしても生活の 便利さに努めるべき	149	18%
環境保よりも生活の便利さに大 いに努めるべき	40	5%
わからない	31	4%
無回答	22	3%
合計	814	100%



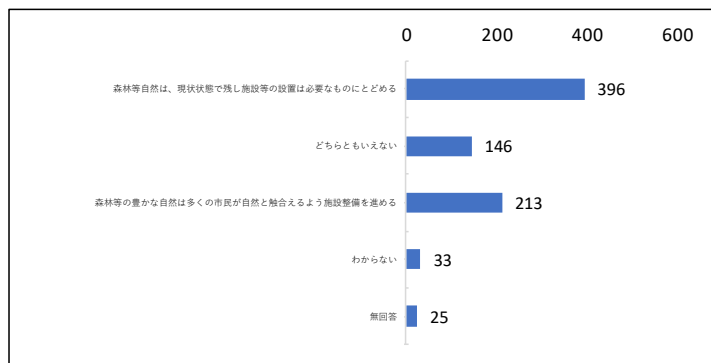
**問20 環境保のため、市中で販売されている商品やサービスの価格について、費用が上乗せされることに賛成ですか。**

	人数(人)	割合(%)
環境保に必要な費用を商品価格 等の上乗せすることはやむを得ない	228	28%
どちらともいえない	259	32%
環境保に必要な費用を商品価格 等の上乗せすることは避けるべき	244	30%
わからない	58	7%
無回答	24	3%
合計	813	100%



**問21 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。**

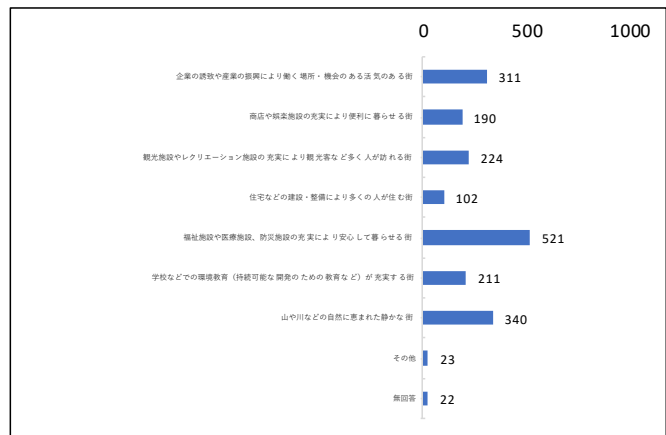
	人数(人)	割合(%)
森林等自然は、現状状態で残し施 設等の設置は必要なものにとどめ る	396	49%
どちらともいえない	146	18%
森林等の豊かな自然は多くの市民 が自然と触合えるよう施設整備を進 める	213	26%
わからない	33	4%
無回答	25	3%
合計	813	100%





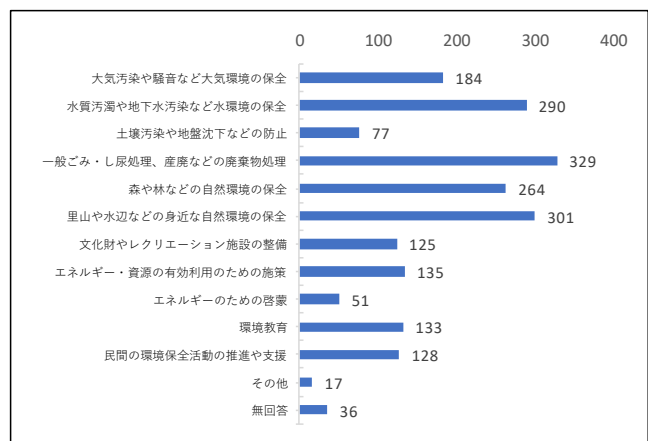
**問22 伊賀市全体のイメージとして、どのようなイメージがふさわしいと思いますか。**

	人数(人)	割合(%)
企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある活気のある街	311	16%
商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせる街	190	10%
観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客など多く人が訪れる街	224	12%
住宅などの建設・整備により多くの人が住む街	102	5%
福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせる街	521	27%
学校などでの環境教育(持続可能な開発のための教育など)が充実する街	211	11%
山や川などの自然に恵まれた静かな街	340	17%
その他	23	1%
無回答	22	1%
合計	1944	100%



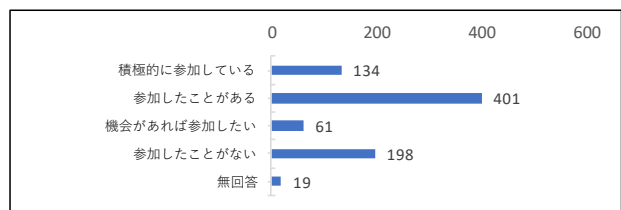
**問23 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
大気汚染や騒音など大気環境の保全	184	9%
水質汚濁や地下水汚染など水環境の保全	290	14%
土壌汚染や地盤沈下などの防止	77	4%
一般ごみ・し尿処理、産廃などの廃棄物処理	329	16%
森や林などの自然環境の保全	264	13%
里山や水辺などの身近な自然環境の保全	301	15%
文化財やレクリエーション施設の整備	125	6%
エネルギー・資源の有効利用のための施策	135	7%
エネルギーのための啓蒙	51	2%
環境教育	133	6%
民間の環境保全活動の推進や支援	128	6%
その他	17	1%
無回答	36	2%
合計	2070	100%



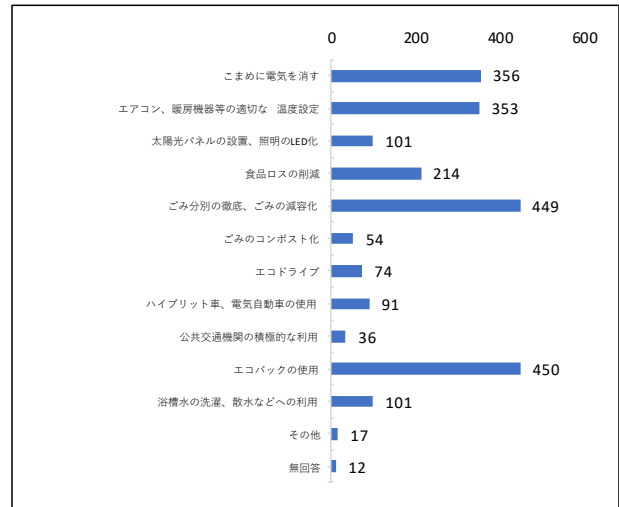
**問24 地域の清掃活動や廃品回収、また、緑の植樹など環境保全に関する活動に参加したことはありますか。**

	人数(人)	割合(%)
積極的に参加している	134	16%
参加したことがある	401	49%
機会があれば参加したい	61	8%
参加したことがない	198	24%
無回答	19	2%
合計	813	100%



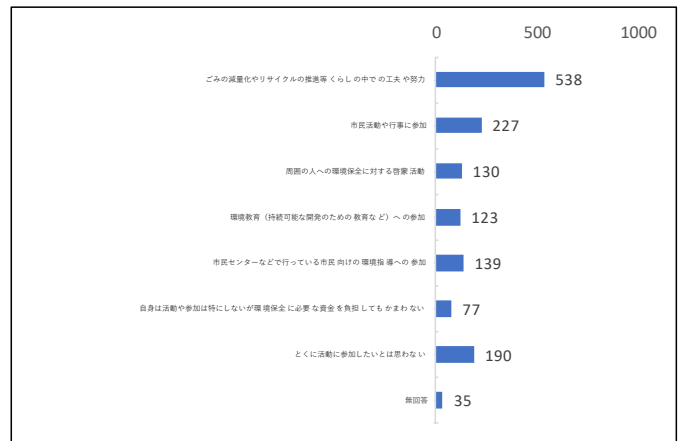
**問25 現在、あなたが取り組まれている環境に配慮した活動は何ですか。**

	人数(人)	割合(%)
こまめに電気を消す	356	15%
エアコン、暖房機器等の適切な温度設定	353	15%
太陽光パネルの設置、照明のLED化	101	4%
食品ロスの削減	214	9%
ごみ分別の徹底、ごみの減容化	449	19%
ごみのコンポスト化	54	2%
エコドライブ	74	3%
ハイブリット車、電気自動車の使用	91	4%
公共交通機関の積極的な利用	36	2%
エコバックの使用	450	19%
浴槽水の洗濯、散水などへの利用	101	4%
その他	17	1%
無回答	12	1%
合計	2308	100%



**問26 今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。**

	人数(人)	割合(%)
ごみの減量化やリサイクルの推進等くらしの中の工夫や努力	538	37%
市民活動や行事に参加	227	16%
周囲の人への環境保全に対する啓蒙活動	130	9%
環境教育(持続可能な開発のための教育など)への参加	123	8%
市民センターなどで行っている市民向けの環境指導への参加	139	10%
自身は活動や参加は特にしないが環境保全に必要な資金を負担してもかまわない	77	5%
とくに活動に参加したいとは思わない	190	13%
無回答	35	2%
合計	1459	100%

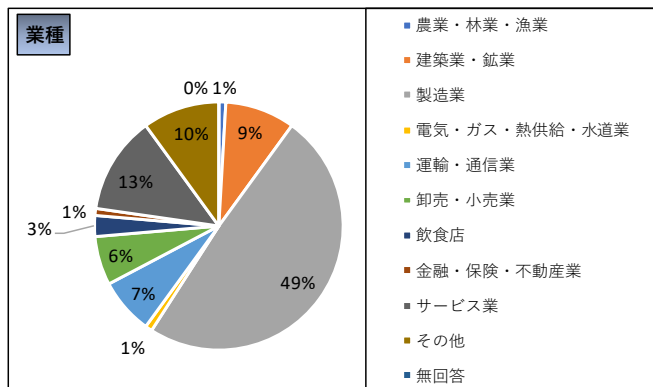


(2) 事業所（配布数：200 事業所、回収数：事業所 110 事業所）

問1 貴事業所の業種は？

製造業が多く約49%を占めていました。

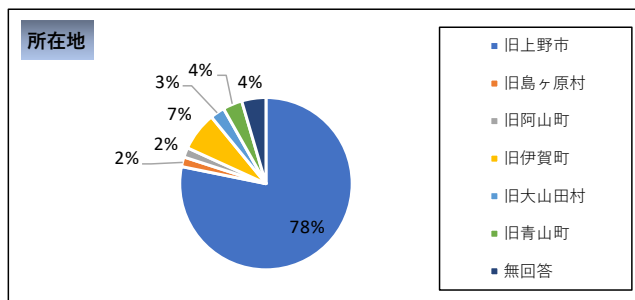
	人数(人)	割合(%)
農業・林業・漁業	1	1%
建築業・鉱業	10	9%
製造業	54	49%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1%
運輸・通信業	8	7%
卸売・小売業	7	6%
飲食店	3	3%
金融・保険・不動産業	1	1%
サービス業	14	13%
その他	11	10%
無回答	0	0%
合計	110	100%



問2 貴事業所の所在地は？

旧上野市が多く78%を占めていました。

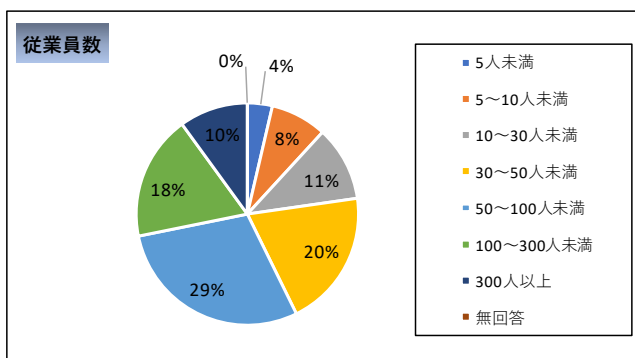
	人数(人)	割合(%)
旧上野市	86	78%
旧島ヶ原村	2	2%
旧阿山町	2	2%
旧伊賀町	8	7%
旧大山田村	3	3%
旧青山町	4	4%
無回答	5	5%
合計	110	100%



問3 貴事業所の従業員数は？

50～100人未満の事業所が多く占めていました。

	人数(人)	割合(%)
5人未満	4	4%
5～10人未満	9	8%
10～30人未満	12	11%
30～50人未満	22	20%
50～100人未満	32	29%
100～300人未満	20	18%
300人以上	11	10%
無回答	0	0%
合計	110	100%

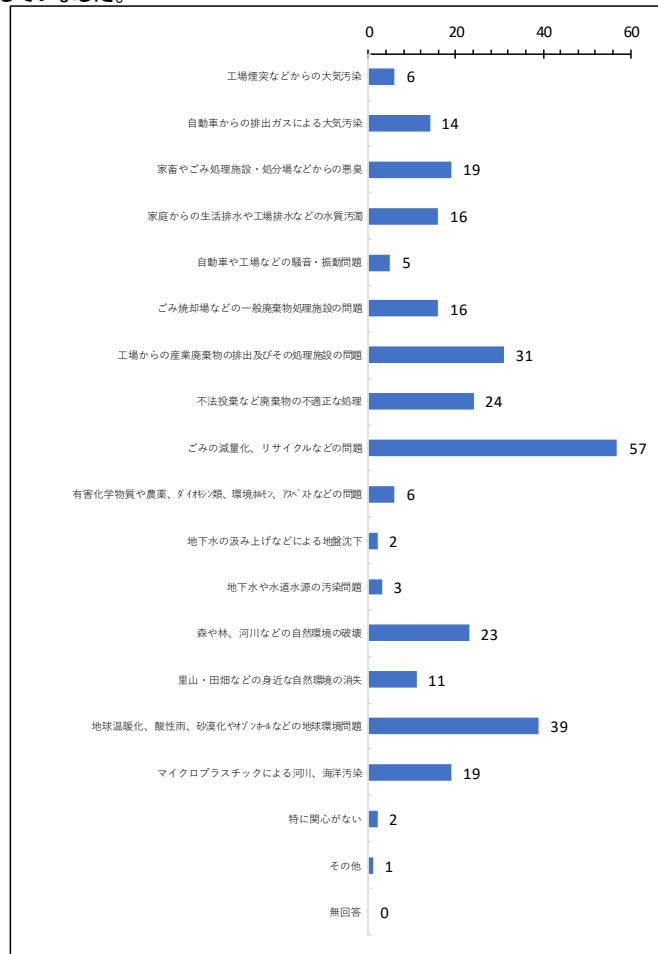


## I 環境に対する関心度

### 問4 あなたの現在、関心のある環境問題は？

ごみの減量化、リサイクルなどの問題に多くの事業所が関心を示していました。

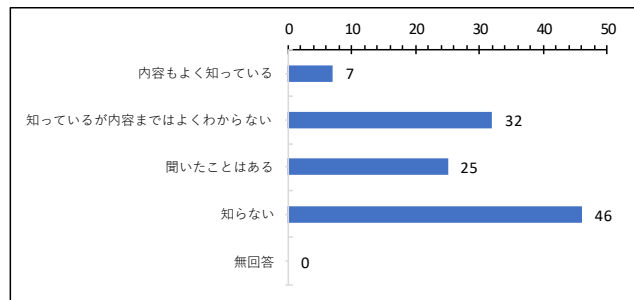
	人数(人)	割合(%)
工場煙突などからの大気汚染	6	2%
自動車からの排出ガスによる大気汚染	14	5%
家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	19	6%
家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	16	5%
自動車や工場などの騒音・振動問題	5	2%
ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	16	5%
工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	31	11%
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	24	8%
ごみの減量化、リサイクルなどの問題	57	19%
有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、環境ホルモン、アスベストなどの問題	6	2%
地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	2	1%
地下水や水道水源の汚染問題	3	1%
森や林、河川などの自然環境の破壊	23	8%
里山・田畑などの身近な自然環境の消失	11	4%
地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	39	13%
マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	19	6%
特に関心がない	2	1%
その他	1	0%
無回答	0	0%
合計	294	100%



### 問5 伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度～2015年度)を知っていますか。

知らないと回答された事業所が多くありました。

	人数(人)	割合(%)
内容もよく知っている	7	6%
知っているが内容まではよくわからない	32	29%
聞いたことはある	25	23%
知らない	46	42%
無回答	0	0%
合計	110	100%

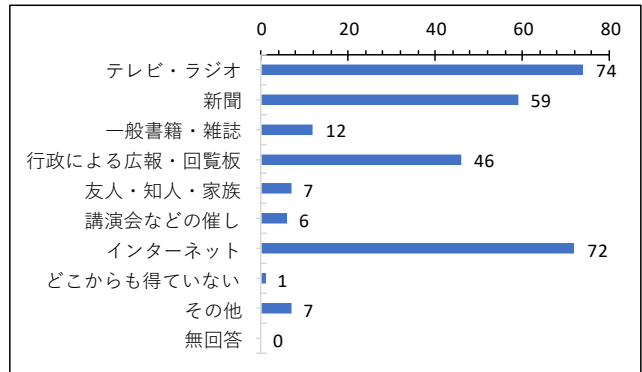


## II 環境の情報について

### 問6 環境に関する情報はどこで入手しますか。

テレビ・ラジオ、インターネットが高い傾向にありました。

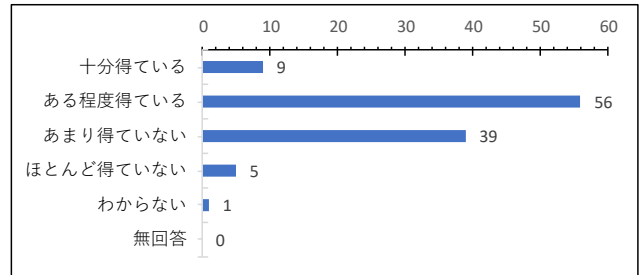
	人数(人)	割合(%)
テレビ・ラジオ	74	26%
新聞	59	21%
一般書籍・雑誌	12	4%
行政による広報・回覧板	46	16%
友人・知人・家族	7	2%
講演会などの催し	6	2%
インターネット	72	25%
どこからも得ていない	1	0%
その他	7	2%
無回答	0	0%
合計	284	100%



### 問7 環境に関する情報入手は十分ですか。

ある程度得ていることが伺えます。

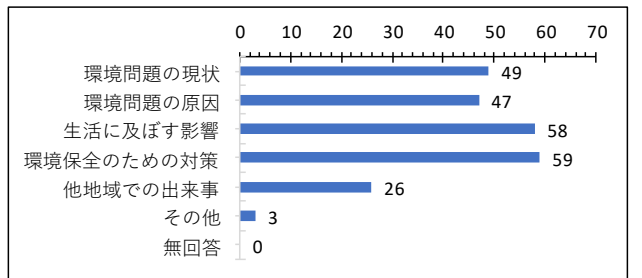
	人数(人)	割合(%)
十分得ている	9	8%
ある程度得ている	56	51%
あまり得ていない	39	35%
ほとんど得ていない	5	5%
わからない	1	1%
無回答	0	0%
合計	110	100%



### 問8 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何か。

様々な環境問題について情報が不足していることが伺えます。

	人数(人)	割合(%)
環境問題の現状	49	20%
環境問題の原因	47	19%
生活に及ぼす影響	58	24%
環境保全のための対策	59	24%
他地域での出来事	26	11%
その他	3	1%
無回答	0	0%
合計	242	100%

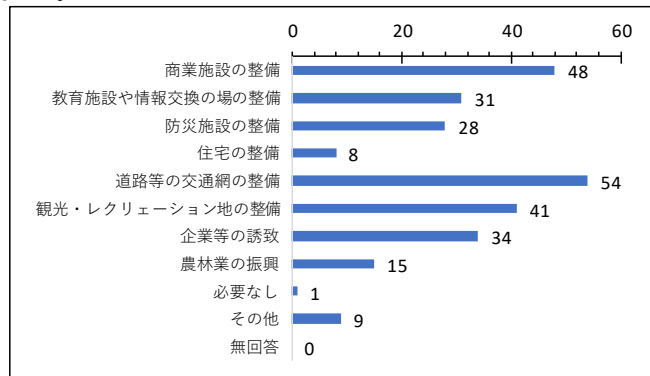


### Ⅲ 望ましい環境像

#### 問9 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。

道路等の交通網の整備は前回アンケートでも高い結果となっていました。

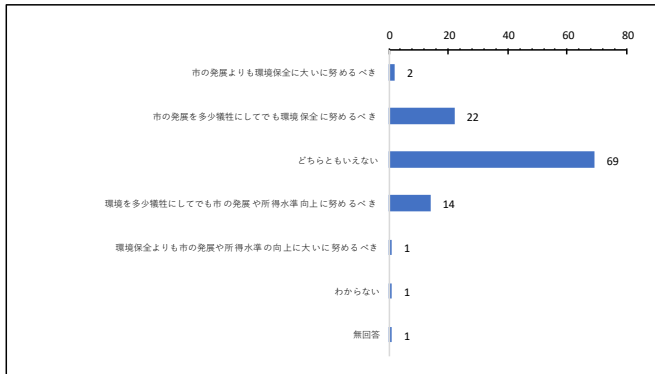
	人数(人)	割合(%)
商業施設の整備	48	18%
教育施設や情報交換の場の整備	31	12%
防災施設の整備	28	10%
住宅の整備	8	3%
道路等の交通網の整備	54	20%
観光・レクリエーション地の整備	41	15%
企業等の誘致	34	13%
農林業の振興	15	6%
必要なし	1	0%
その他	9	3%
無回答	0	0%
合計	269	100%



#### 問10 環境を守ることと伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることとどちらを優先すべきですか。

どちらともいえないが多くを占めました。

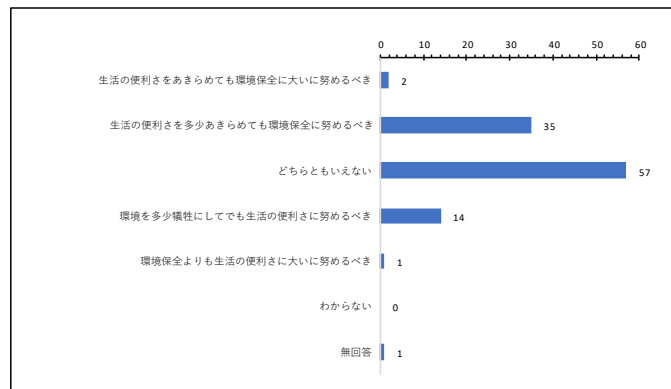
	人数(人)	割合(%)
市の発展よりも環境保全に大いに努めるべき	2	2%
市の発展を多少犠牲にしても環境保全に努めるべき	22	20%
どちらともいえない	69	63%
環境を多少犠牲にしても市の発展や所得水準向上に努めるべき	14	13%
環境保全よりも市の発展や所得水準の向上に大いに努めるべき	1	1%
わからない	1	1%
無回答	1	1%
合計	110	100%



#### 問11 環境を守ることと私たちのくらしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。

どちらともいえないが多くを占めました。

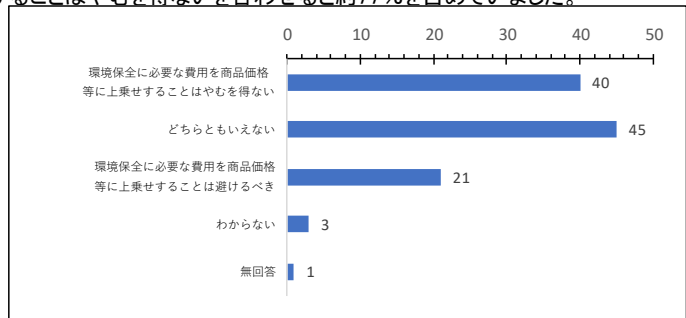
	人数(人)	割合(%)
生活の便利さをあきらめても環境保全に大いに努めるべき	2	2%
生活の便利さを多少あきらめても環境保全に努めるべき	35	32%
どちらともいえない	57	52%
環境を多少犠牲にしても生活の便利さに努めるべき	14	13%
環境保全よりも生活の便利さに大いに努めるべき	1	1%
わからない	0	0%
無回答	1	1%
合計	110	100%



**問12 環境を守るために、私たちに費用の一部を負担することなどについて賛成ですか。**

どちらともいえない、環境保全に必要な費用を価格等に乗せすることはやむを得ないを合わせると約77%を占めていました。

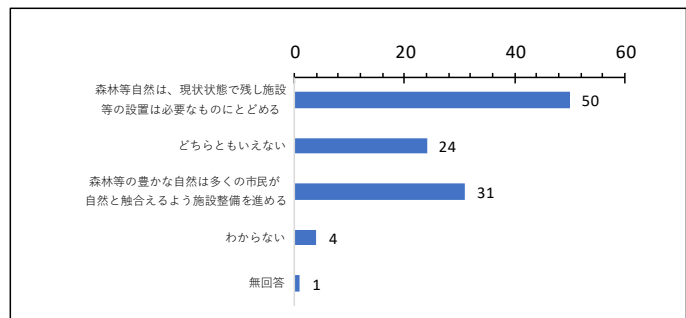
	人数(人)	割合(%)
環境保全に必要な費用を商品価格等に乗せすることはやむを得ない	40	36%
どちらともいえない	45	41%
環境保全に必要な費用を商品価格等に乗せすることは避けるべき	21	19%
わからない	3	3%
無回答	1	1%
合計	110	100%



**問13 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。**

自然の現状を維持すると共に、施設設置は必要なものとどめる回答が多く占めました。

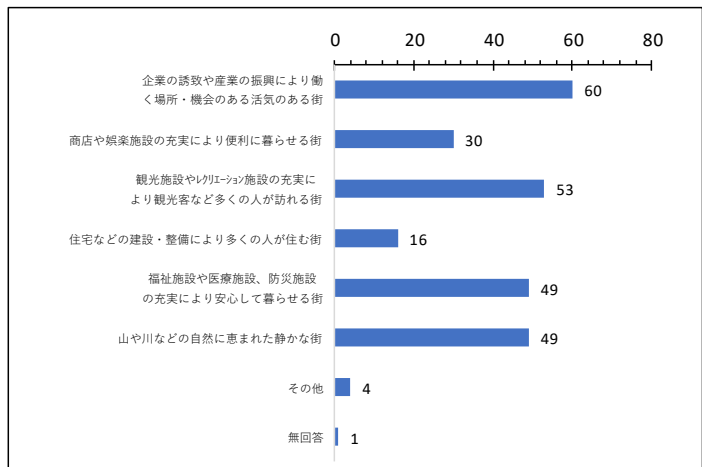
	人数(人)	割合(%)
森林等自然は、現状状態で残し施設等の設置は必要なものとどめる	50	45%
どちらともいえない	24	22%
森林等の豊かな自然は多くの市民が自然と触合えるよう施設整備を進める	31	28%
わからない	4	4%
無回答	1	1%
合計	110	100%



**問14 伊賀市全体のイメージとして、どのような市のイメージがふさわしいと思いますか。**

回答がわかる結果となりました。

	人数(人)	割合(%)
企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある活気のある街	60	23%
商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせる街	30	11%
観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客など多くの人が訪れる街	53	20%
住宅などの建設・整備により多くの人が住む街	16	6%
福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせる街	49	19%
山や川などの自然に恵まれた静かな街	49	19%
その他	4	2%
無回答	1	0%
合計	262	100%

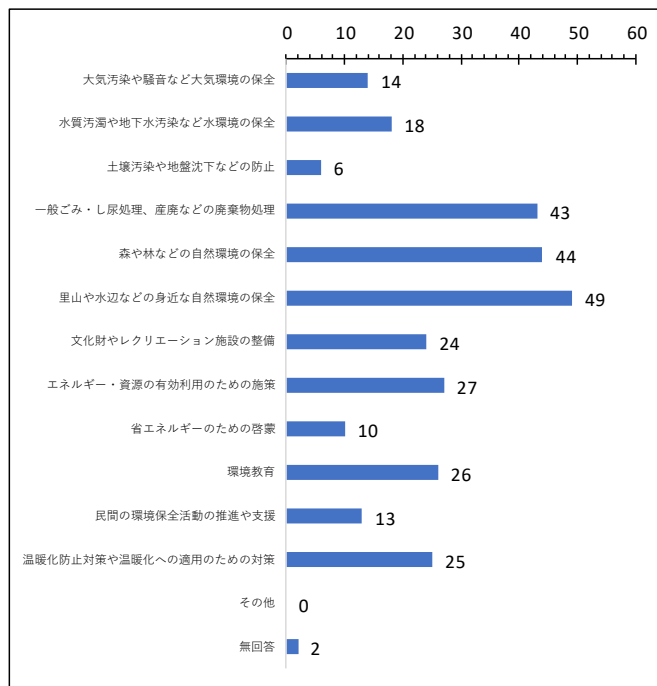


#### IV 環境保全に対する取り組み

##### 問15 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。

自然環境の保全、廃棄物処理などが多く占めました。

	人数(人)	割合(%)
大気汚染や騒音など大気環境の保全	14	5%
水質汚濁や地下水汚染など水環境の保全	18	6%
土壌汚染や地盤沈下などの防止	6	2%
一般ごみ・し尿処理、産廃などの廃棄物処理	43	14%
森や林などの自然環境の保全	44	15%
里山や水辺などの身近な自然環境の保全	49	16%
文化財やレクリエーション施設の整備	24	8%
エネルギー・資源の有効利用のための施策	27	9%
省エネルギーのための啓蒙	10	3%
環境教育	26	9%
民間の環境保全活動の推進や支援	13	4%
温暖化防止対策や温暖化への適用のための対策	25	8%
その他	0	0%
無回答	2	1%
合計	301	100%

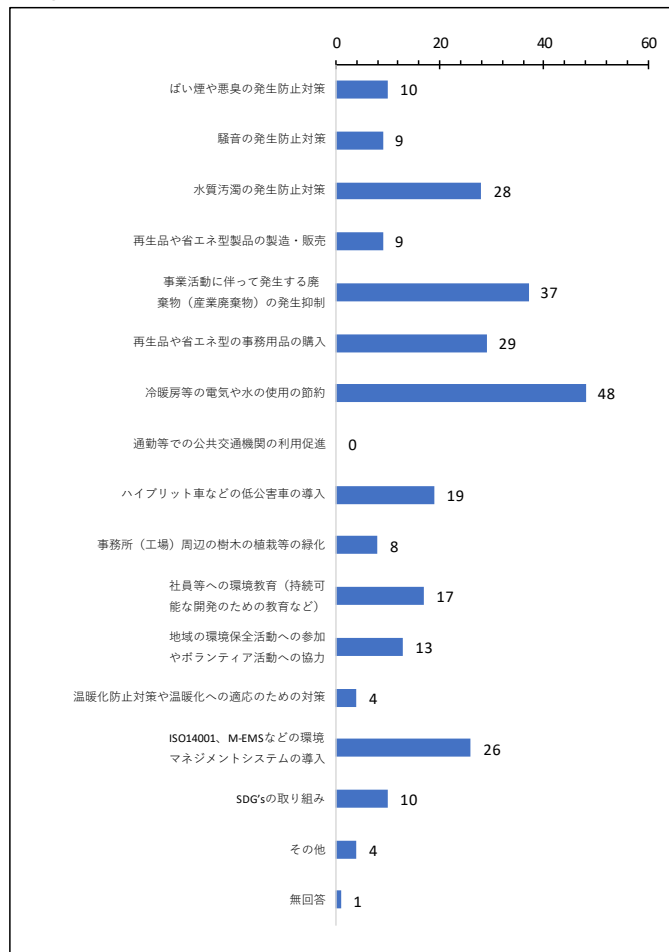




**問16 貴事業所では環境保全のためにどのような取り組みを行っていますか。**

電器・水の節約、廃棄物の発生抑制、再生品や省エネ型事務用品の購入などが多くを占めていました。

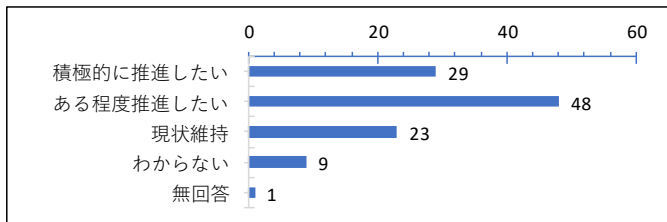
	人数(人)	割合(%)
ばい煙や悪臭の発生防止対策	10	4%
騒音の発生防止対策	9	3%
水質汚濁の発生防止対策	28	10%
再生品や省エネ型製品の製造・販売	9	3%
事業活動に伴って発生する廃棄物(産業廃棄物)の発生抑制	37	14%
再生品や省エネ型の事務用品の購入	29	11%
冷暖房等の電気や水の使用の節約	48	18%
通勤等での公共交通機関の利用促進	0	0%
ハイブリット車などの低公害車の導入	19	7%
事務所(工場)周辺の樹木の植栽等の緑化	8	3%
社員等への環境教育(持続可能な開発のための教育など)	17	6%
地域の環境保全活動への参加やボランティア活動への協力	13	5%
温暖化防止対策や温暖化への適応のための対策	4	1%
ISO14001、M-EMSなどの環境マネジメントシステムの導入	26	10%
SDG'sの取り組み	10	4%
その他	4	1%
無回答	1	0%
合計	272	100%



**問17 貴事業所では今後、環境保全活動を推進したいとお考えですか。**

ある程度推進したいが多くを占めていました。

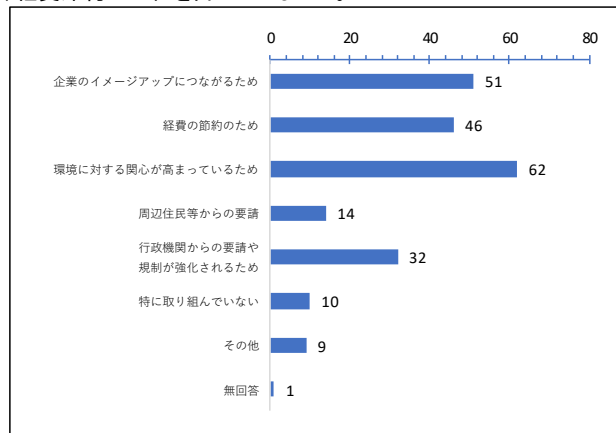
	人数(人)	割合(%)
積極的に推進したい	29	26%
ある程度推進したい	48	44%
現状維持	23	21%
わからない	9	8%
無回答	1	1%
合計	110	100%



**問18 貴事業所が環境保全活動に取り組む理由についてお伺いします。**

環境に関する関心が高まっている、企業のイメージアップにつながる、経費節約が上位を占めていました。

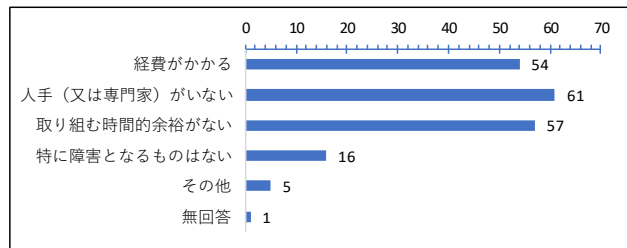
	人数(人)	割合(%)
企業のイメージアップにつながるため	51	23%
経費の節約のため	46	20%
環境に対する関心が高まっているため	62	28%
周辺住民等からの要請	14	6%
行政機関からの要請や規制が強化されるため	32	14%
特に取り組んでいない	10	4%
その他	9	4%
無回答	1	0%
合計	225	100%



**問19 貴事業所が環境保全活動に取り組むのに障害となっているものについてお伺いします。**

人手不足、時間不足、経費がかかるが上位を占めていました。

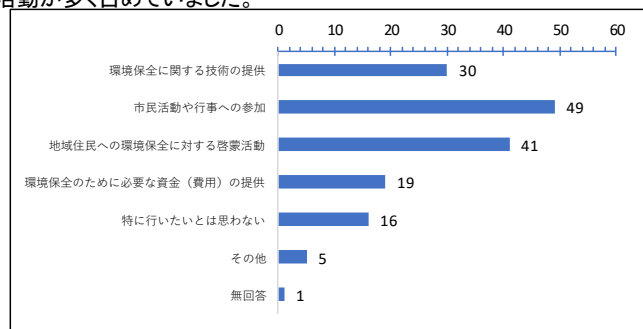
	人数(人)	割合(%)
経費がかかる	54	28%
人手(又は専門家)がいない	61	31%
取り組む時間的余裕がない	57	29%
特に障害となるものはない	16	8%
その他	5	3%
無回答	1	1%
合計	194	100%



**問20 貴事業所が今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。**

市民活動や行事への参加、地域住民への環境保全に対する啓蒙活動が多く占めていました。

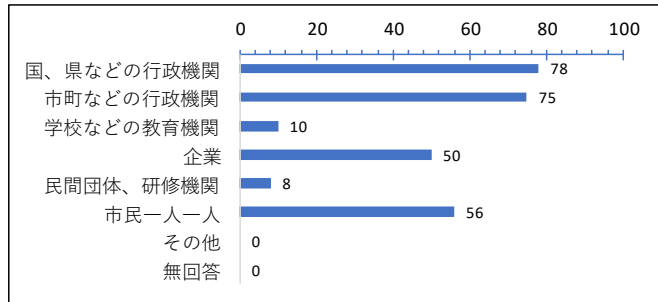
	人数(人)	割合(%)
環境保全に関する技術の提供	30	19%
市民活動や行事への参加	49	30%
地域住民への環境保全に対する啓蒙活動	41	25%
環境保全のために必要な資金(費用)の提供	19	12%
特に行いたいとは思わない	16	10%
その他	5	3%
無回答	1	1%
合計	161	100%



**問21 環境保全のために最優先で取り組むべき機関は。**

行政機関に対し期待される結果となりました。

	人数(人)	割合(%)
国、県などの行政機関	78	28%
市町などの行政機関	75	27%
学校などの教育機関	10	4%
企業	50	18%
民間団体、研修機関	8	3%
市民一人一人	56	20%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	277	100%



**問22 貴事業所は環境保全に取り組むために、行政(伊賀市)に対してどのような支援を望みますか。**

環境保全に関する情報提供の回答が多くを占めていました。また、環境活動に対する助成金(融資)等の要望も高いことが伺えました。

	人数(人)	割合(%)
環境保全に関する技術の提供	41	18%
環境保全に関する情報の提供	71	32%
事業所への環境に関する勉強会等の教育活動	24	11%
環境保全活動に対する助成(融資)等金銭的援助	51	23%
環境関連の条例等、さらなる法令の整備	27	12%
特に望まない	7	3%
その他	1	0%
無回答	1	0%
合計	223	100%

